

TCS-8500

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 2.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

改版履歴

第1版	2020年06月10日	新規作成	
第1.1版	2020年08月03日	改版	写真の変更、説明の追記等
第1.2版	2021年02月08日	改版	V11.011B01に対応
第1.3版	2021年06月23日	改版	ACアダプタの製品保証の追記等
第2版	2022年07月29日	改版	V11.205B06に対応
第2.1版	2022年08月02日	改版	コンフィグに関する注意書きを追記等

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	7
2. 梱包物一覧.....	7
3. 製品外観	8
3.1. 前面.....	8
3.2. 背面.....	9
4. インストレーション	10
5. HDMI 対応解像度一覧	11
6. 設定画面へのログイン.....	12
7. メニューの切り替え方法	16
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え	16
7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え	16
8. 基本設定	17
8.1. IP アドレスの変更	17
8.2. Encoder と Decoder の切り替え	18
8.3. 映像入力インタフェースの変更.....	19
8.4. エンコードの設定.....	20
8.5. MPEG-TS での映像配信	21
8.6. RTSP サーバでの映像配信	22
8.7. RTSP ストリーム URL 一覧	23
8.8. 出力インタフェースの変更	24
8.9. 映像受信	25
8.10. ポート開放の設定.....	27
9. Setup メニュー	28
9.1. Video&Audio.....	28
9.1.1. Information	29

9.1.2.	Video	30
9.1.3.	Audio	34
9.1.4.	Output—Encoder.....	35
9.1.5.	Output—Decoder	36
9.1.6.	Output OSD	38
9.2.	Image	42
9.2.1.	Mask	43
9.3.	Network.....	45
9.3.1.	IP&Port.....	47
9.3.2.	RTSP Multicast	51
9.3.3.	QoS.....	52
9.3.4.	Remote	53
9.3.5.	Discovery	60
9.3.6.	One-way	61
9.3.7.	SRT	64
9.3.8.	SNMP	66
9.3.9.	DDNS.....	68
9.3.10.	IP filtering	69
9.3.11.	E-mail.....	70
9.3.12.	FTP	72
9.3.13.	Connecting.....	74
9.3.14.	Decode List.....	76
9.4.	Event.....	78
9.4.1.	Notification —Encoder.....	80
9.4.2.	Notification —Decoder	82
9.4.3.	User Defined Event.....	84
9.4.4.	Motion Detection	85
9.4.5.	Audio Detection	87
9.4.6.	Sensor.....	88
9.4.7.	Alarm	90
9.4.8.	Video Analysis.....	91
9.4.9.	Event OSD	96
9.4.10.	HTTP Action.....	97
9.5.	Record.....	99
9.5.1.	General	100
9.5.2.	Schedule	102
9.5.3.	Disk Information	104
9.5.4.	Search Page	106

9.6. Device	107
9.6.1. Information	108
9.6.2. Serial	109
9.7. PTZ.....	111
9.7.1. General	112
9.7.2. Preset	113
9.7.3. Group.....	114
9.7.4. Advanced	115
9.7.5. Direction OSD	117
9.8. User.....	118
9.8.1. User List	119
9.8.2. Login Policy.....	122
9.9. System	124
9.9.1. Information	125
9.9.2. Upgrade & Reboot	126
9.9.3. Time	128
9.9.4. OSD	129
9.9.5. Language	132
9.9.6. System Mode.....	133
9.9.7. Log.....	134
10. Live メニュー	137
11. 製品仕様	139
12. 困ったときには.....	140
13. 製品保証	141

1. 製品概要

TCS-8500 は、H.265/H.264/MJPEG の動画圧縮規格を採用し、HDMI の映像データや G.711 或いは AAC の音声データを IP ネットワーク経由で伝送できる機器です。

2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
固定金具	2 個
固定金具用ネジ	4 個

3. 製品外観

3.1. 前面



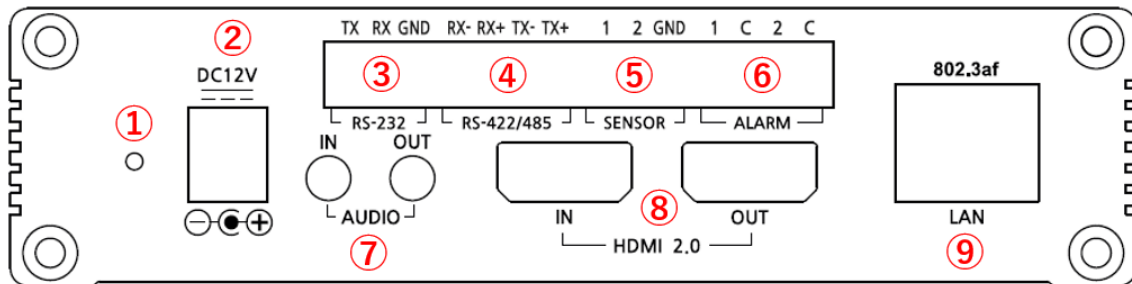
#	表示	説明
①	LED	電源の OFF/ON、本体の状態、対向機との接続状態、映像データが送受信されているかを示します。
②	USB	USB メモリを接続し、録画を保存します。 ※USB メモリースティックまたは USB HDD(外部電源付き)を推奨します。詳細は” USB ディスクについて ”をご確認ください。
③	USER KEY	ボタン(左): 録画の開始および停止を行います。 LED(右): 緑点灯は録画中、消灯は録画していないことを示します。

LED の状態

#	名称	状態	説明
①	PWR	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	電源が入っています。
	STATUS	緑点滅	システムが正常に稼働しています。
		赤点灯	システムに異常が発生しています。
	LAN	消灯	対向側の機器と接続されていません。
		緑点滅	対向側の機器と接続されています。
	DATA(Encoder)	緑点灯	HDMI より正常に入力されています。
		赤点灯	サポートしていない入力形式です。
		消灯	HDMI は入力されていません。
	DATA(Decoder)	緑点灯	正常にデコードしています。
		消灯	デコードしていません。

※DATA が HDMI である場合も、LED の動作は同じです。

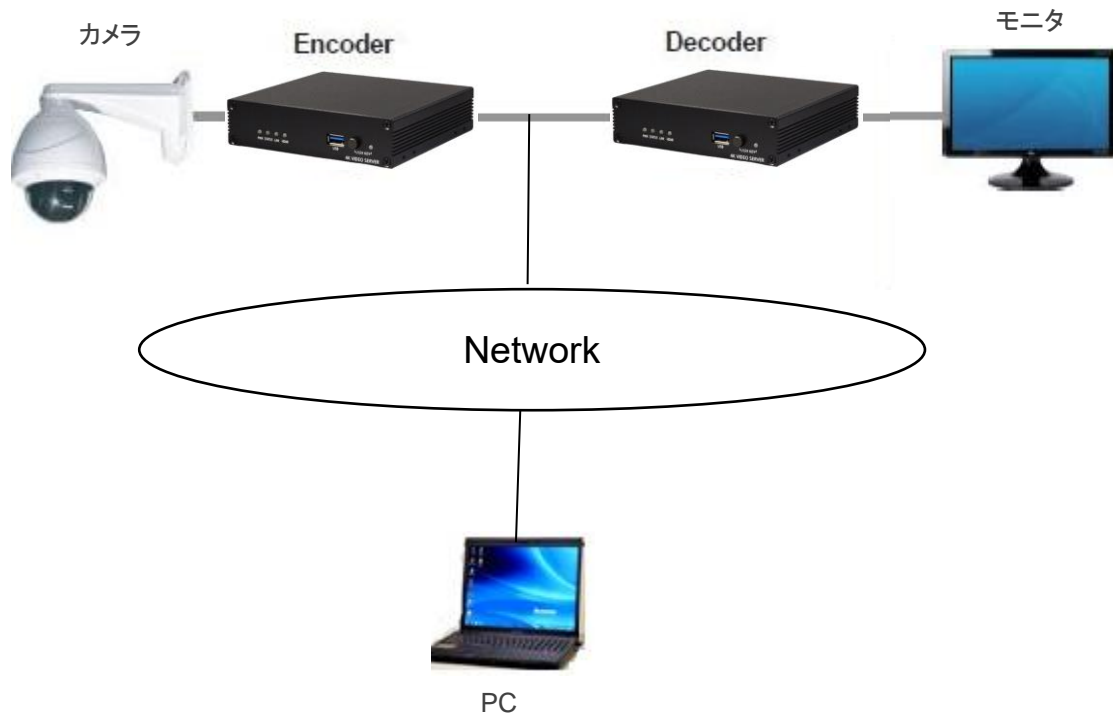
3.2. 背面



#	表示	説明
①	RESET	一部の設定を初期状態にします。本体からピッと音がするまで(約 20 秒間)押下してください。その後、自動で再起動し、約 1 分後にパスワード、IP 設定、ユーザリストのみ初期化された状態で起動します。
②	DC12V	DC12V の電源を供給します。
③	RS-232	カメラのコントロール(PTZ 制御)を行います。
④	RS-422/485	カメラのコントロール(PTZ 制御)を行います。
⑤	SENSOR	外付けのセンサーを接続します。
⑥	ALARM	外付けのアラーム機器を接続します。
⑦	AUDIO	IN 増幅機能を有する音源を接続します。 3.5mm モノラルミニジャックの LINE 入力ポートです。
		OUT 増幅機能を有するスピーカなどを接続します。 3.5mm モノラルミニジャックの LINE 出力ポートです。
⑧	HDMI2.0	IN HDMI 信号を入力します。
		OUT HDMI 信号を出力します。
⑨	LAN	本機をネットワークに接続します。(10/100/1000Mbps)

4. インストレーション

以下に接続例を示します。



5. HDMI 対応解像度一覧

INPUT : Encoder の HDMI IN から入力できる解像度

OUTPUT : Encoder 及び Decoder の HDMI OUT から出力できる解像度

解像度	INPUT	OUTPUT
640 × 480 p60	○	
720 × 480 p60	○	○
720 × 576 p50	○	○
800 × 600 p60	○	
1024 × 768 p60	○	
1280 × 720 p50/60	○	○
1280 × 768 p60	○	
1280 × 1024 p60	○	
1600 × 900 p60	○	
1920 × 1080 p24/25/30/50/60	○	○
1920 × 1080 i50/60		○
2560 × 1440 p30	○	
2560 × 1600 p60	○	○
3840 × 2160 p24/25/30/50/60	○	○

※HDMI 入力/出力は、ドロップフレームに対応しています。

6. 設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、TCS-8500 の設定を行います。

- 推奨ブラウザ

Microsoft Edge (Internet Explorer モード)

※[Internet Explorer モード](#)の設定方法をご参照ください。

- ログイン初期設定

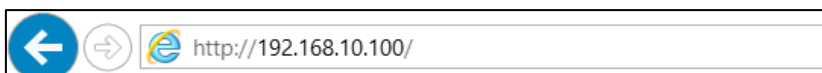
IP アドレス : 192.168.10.100/24

ユーザ名 : admin

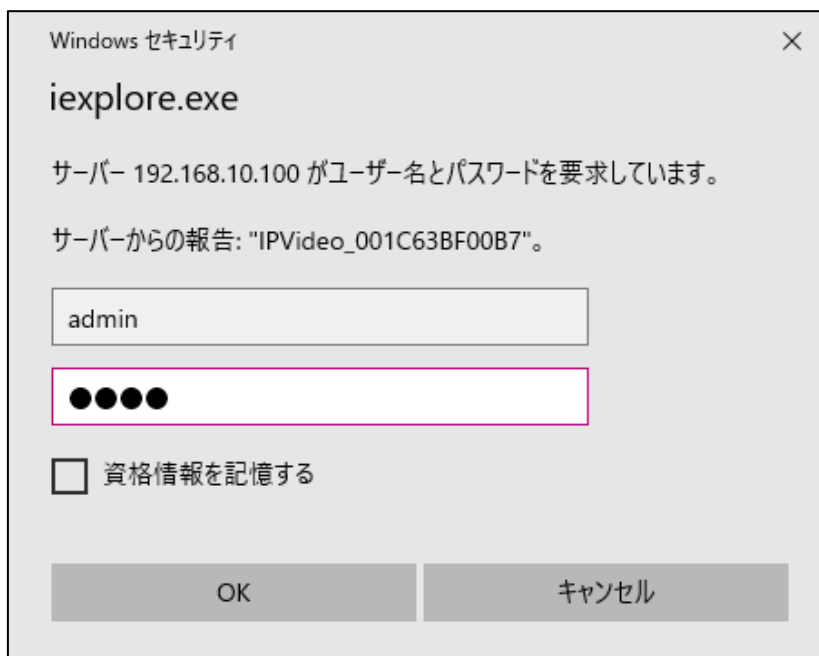
パスワード : 1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.10.100”を入力して接続します。

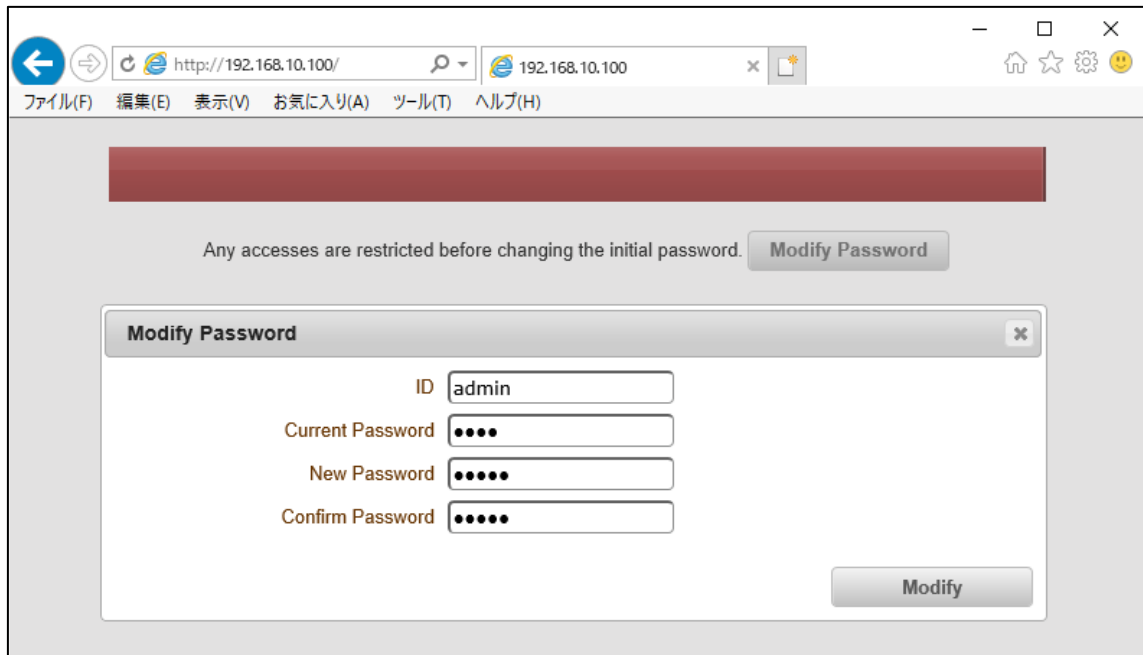


2. ユーザ名とパスワードを入力して、”OK”をクリックします。



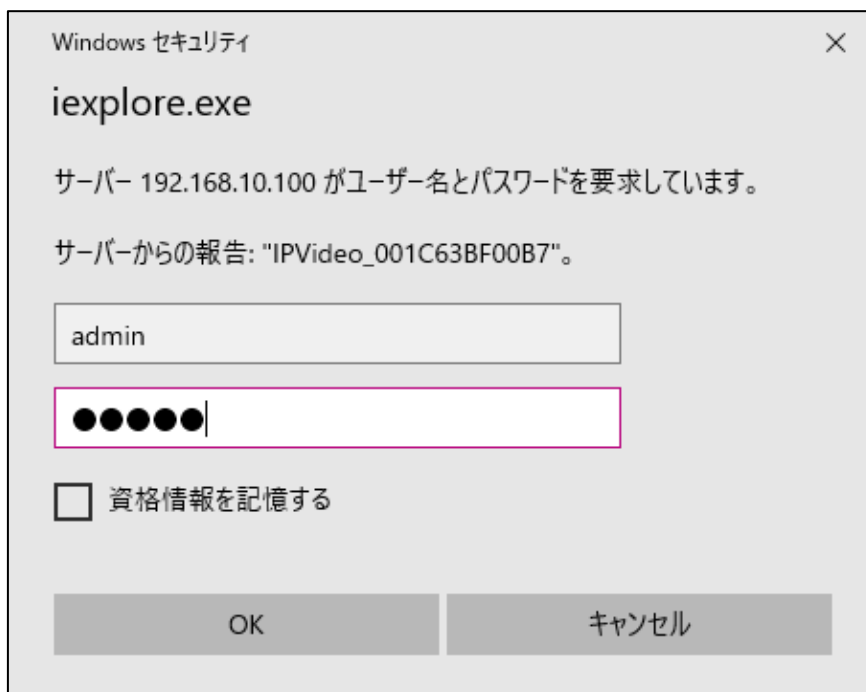
3. 初期パスワードの変更を必ず行います。(Modify Password をクリック)

Current Password には初期値の 1234 を入力します。New/Confirm Password には初期値以外の新しいパスワードを入力し、Modify をクリックしてパスワードを変更します。



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying 'http://192.168.10.100/'. The browser's menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'お気に入り(A)', 'ツール(T)', and 'ヘルプ(H)'. The main content area features a red header bar, followed by a message: 'Any accesses are restricted before changing the initial password.' and a 'Modify Password' button. Below this is a 'Modify Password' dialog box with the following fields: 'ID' (containing 'admin'), 'Current Password' (masked with four dots), 'New Password' (masked with five dots), and 'Confirm Password' (masked with five dots). A 'Modify' button is located at the bottom right of the dialog box.

4. 再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、上記 3 で設定した新しいパスワードでログインします。



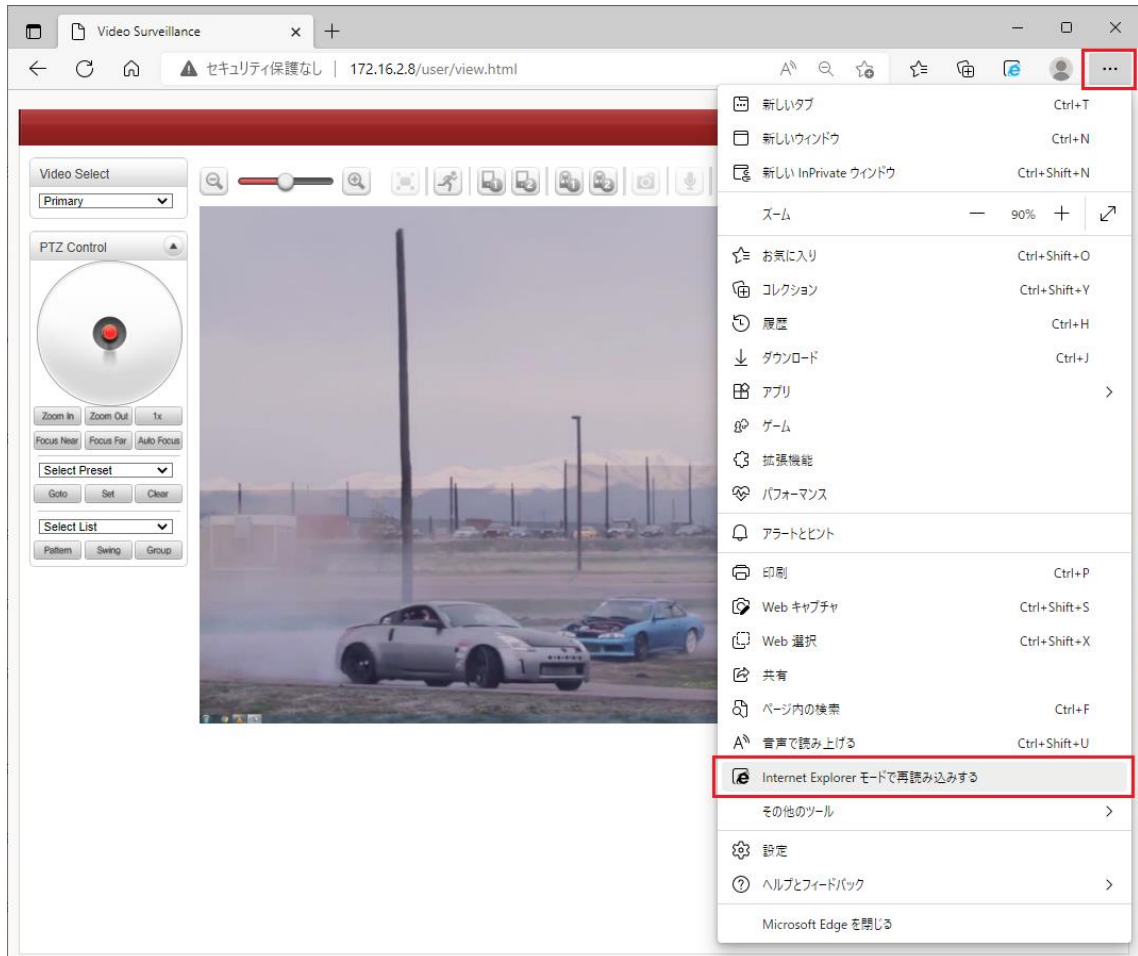
The screenshot shows a 'Windows セキュリティ' (Windows Security) dialog box for 'iexplore.exe'. The message states: 'サーバー 192.168.10.100 がユーザー名とパスワードを要求しています。' (Server 192.168.10.100 is requesting a username and password.) and 'サーバーからの報告: "IPVideo_001C63BF00B7"。' (Report from server: "IPVideo_001C63BF00B7"). The dialog box contains a text field for the username, which is 'admin', and a password field with five dots. Below the password field is a checkbox labeled '資格情報を記憶する' (Remember credentials), which is currently unchecked. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

5. ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。

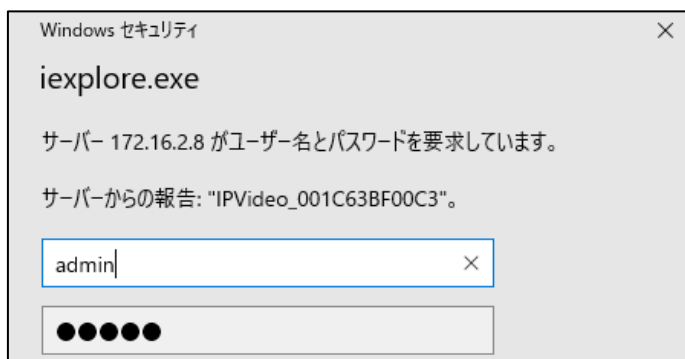
- Internet Explorer モード (IE モード)

設定方法

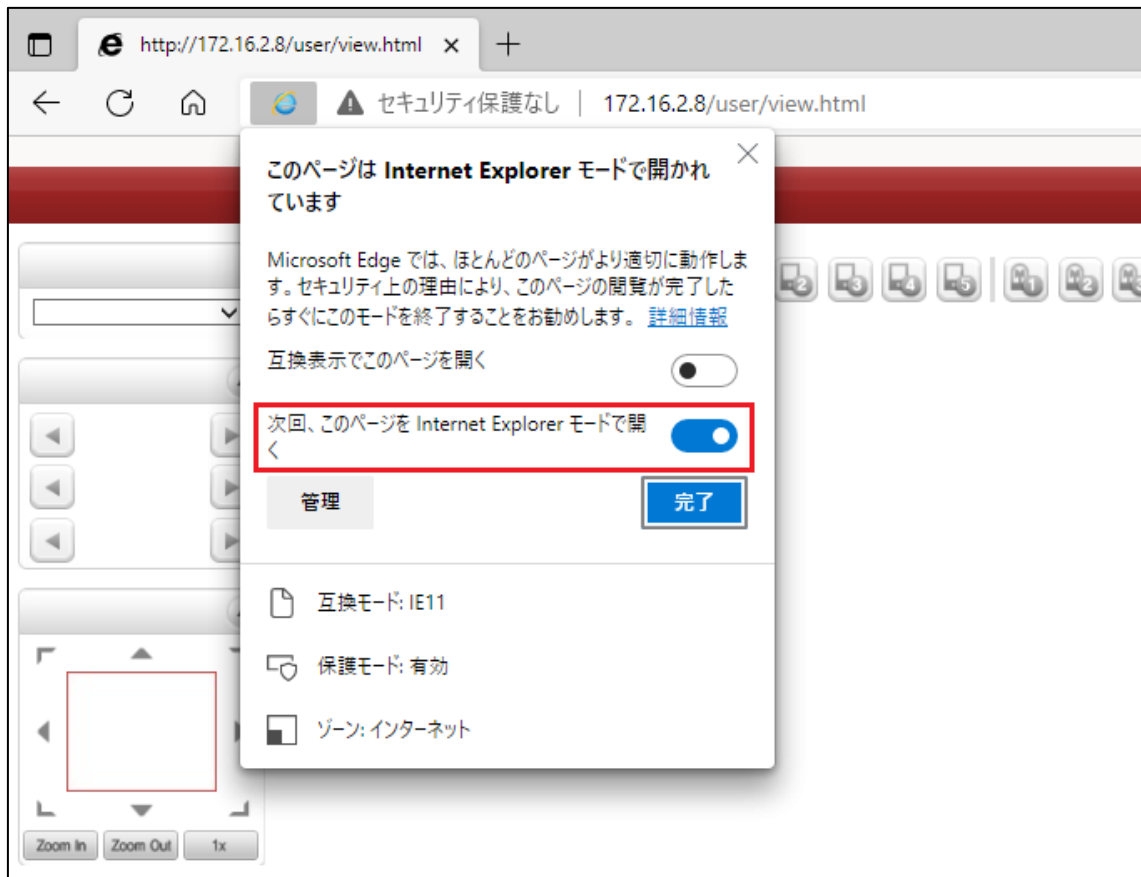
1. Microsoft Edge ブラウザで、上記のログイン手順に従って TCS-8500 にログインします。
2. 右上の「…」をクリックします。
タブの中から「Internet Explorer モードで再度読み込みする」を選択します。



3. ユーザ名とパスワードを求められるので、再度ログインします。



4. 「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にし、完了をクリックします。
次回以降 Edge でログインすると、自動的に Internet Explorer モードで開きます。



注意事項

Microsoft Edge の Internet Explorer モードでは、Live メニューの「File Record」および「Snapshot」はご使用になれません。必要な場合は、Chrome または Edge の通常モードでご使用ください。

7. メニューの切り替え方法

7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え

画面右上の”Live”をクリックします。

Video

	Enable	Algorithm	Resolution	Bitrate	Framerate
Primary Encoding	On	H.264	1280x720	3840 (kbps)	30 (fps)
Secondary#1 Encoding	On	H.264	320x240	969 (kbps)	30 (fps)
Secondary#2 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
Secondary#3 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)

Graph showing Bitrate (kbps) vs Time (s) for Primary, Secondary#1, Secondary#2, and Secondary#3 streams.

Audio

	Enable	Algorithm	Sampling rate	Bitrate
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	74 (kbps)
Audio Decoding	On	G.711	8 KHz	3 (kbps)

7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え

画面右上の”Setup”をクリックします。

Video Select

Primary

Digital Zoom

Zoom In Zoom Out 1x

PTZ Control

Zoom In Zoom Out Stop

Focus Near Focus Far Auto Focus

Select Preset

Go Set Clear

Select List

Pattern Setting Group

File Record

Folder Set

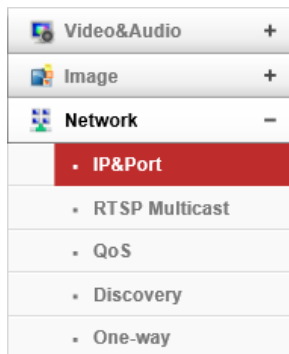
Filename Start

8. 基本設定

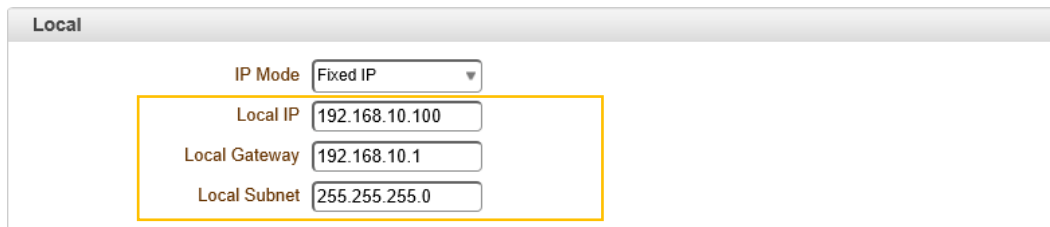
1-2,10 は共通の設定、3-7 はエンコーダによる設定、8-9 はデコーダによる設定となります。

8.1. IP アドレスの変更

1. Network の“IP&Port”をクリックします。



2. Local IP (IP アドレス)、Local Gateway (デフォルトゲートウェイ)、Local Subnet (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。



※IP Mode を DHCP にした場合、Local 設定は入力できません。

3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

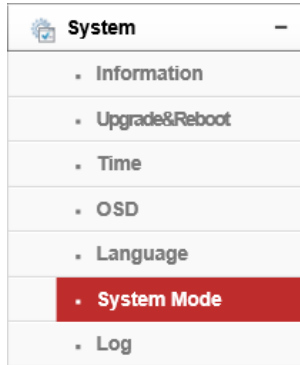
※本機は自動で再起動します。

4. ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力し GUI に接続します。



8.2. Encoder と Decoder の切り替え


1. System の“System Mode”をクリックします。



2. System Mode から、Encoder または Decoder のどちらにするか選択します。



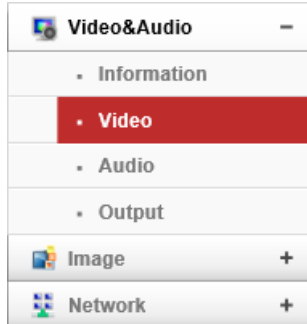
※デフォルトは Encoder です。

3. 画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。

※本機は自動で再起動します。

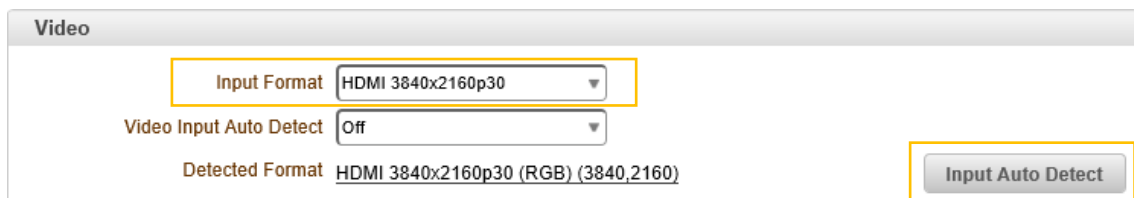
8.3. 映像入力インターフェースの変更

1. Video&Audio の Video をクリックします。



2. Input Format で映像入力するインターフェースを選択します。

また、Input Auto Detect をクリックするとインターフェースを自動検出します。



※Input Auto Detect は Video Input Auto Detect が Off の場合のみ使用できる。

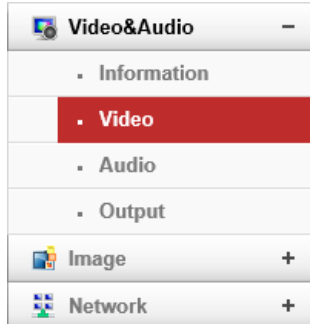
3. Input Auto Detect をクリックした場合、下の表示されている中から選択します。



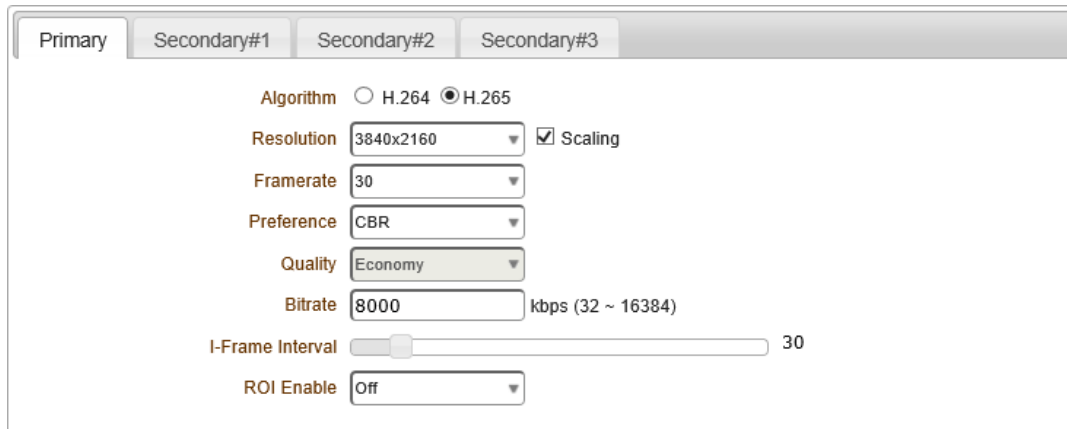
4. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

8.4. エンコードの設定


1. Video&Audio の Video をクリックします。



2. Algorithm(圧縮方式)、Resolution(解像度)、Framerate(フレームレート)を設定します。
Preference が CBR・Hybrid の場合は Bitrate を、VBR の場合は Quality の設定をします。



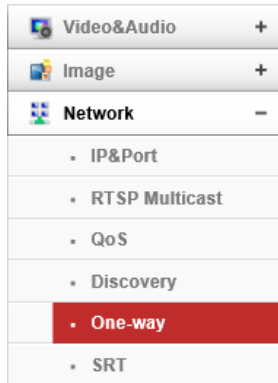
※入力映像によって解像度、フレームレートの設定範囲が異なります。

3. 画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。

8.5. MPEG-TS での映像配信

MPEG-TS で映像配信する場合、Bitrate は最大 10～15Mbps で設定してください。

1. Network の One-way をクリックします。



2. Mode を MPEG-TS にします。

Destination IP には映像受信側の IP アドレス、Port は受信するポート番号を入力します。

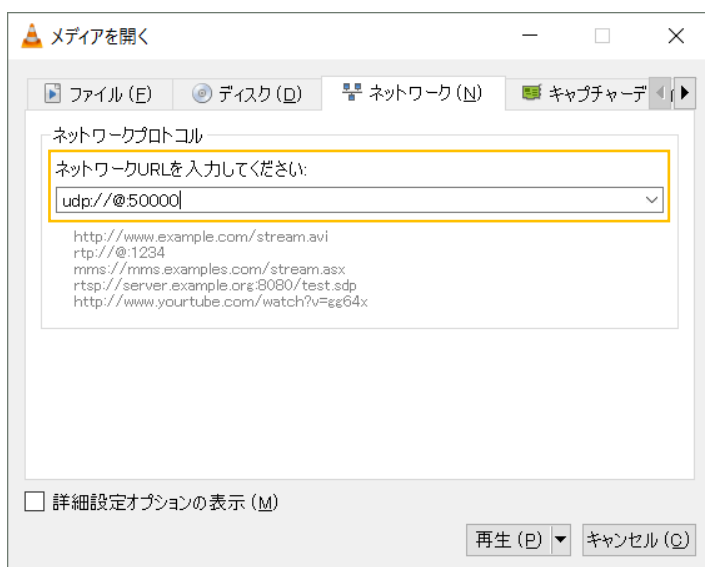
The 'One-way Streaming' window shows the following configuration:

	Enable	Destination IP	Destination Port
Primary	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.10.7	50000
Secondary#1	<input type="checkbox"/>		0
Secondary#2	<input type="checkbox"/>		0
Secondary#3	<input type="checkbox"/>		0

3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

4. VLC メディアプレイヤーの”ネットワークストリームを開く“をクリックします。

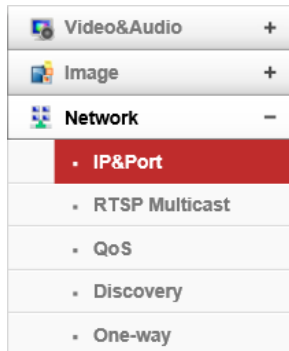
ネットワーク URL には、udp://@:<port> を入力し再生します。



※port : One-way Streaming で設定した Destination Port を入力

8.6. RTSP サーバでの映像配信

1. Network の IP&Port をクリックします。



2. RTSP Port に RTSP で使用するポート番号を入力します。(初期値:554)

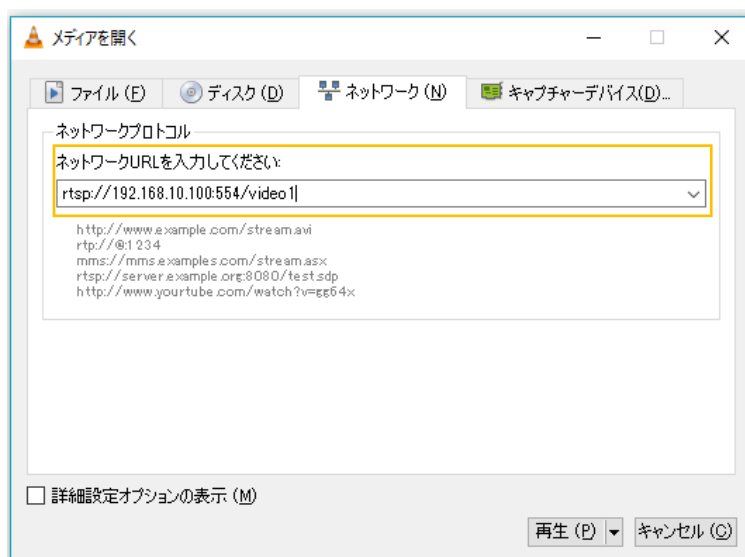
The image shows a 'Port' configuration window with the following fields and values:

Port Name	Value	Range
Base Port	2222	(1025~65535)
HTTP Port	80	(80, 1025~65535)
HTTPS Port	443	(443, 1025~65535)
RTSP Port	554	(554, 1025~65535)
Audio Receive Port	2280	(1025~65535)

3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

4. VLC メディアプレイヤーの”ネットワークストリームを開く“をクリックします。

メインストリームの再生は、`rtsp://<IP Address>:<RTSP Port>/video1` と入力し再生します。



※IP Address : TCS-8500 の IP アドレス

8.7. RTSP ストリーム URL 一覧

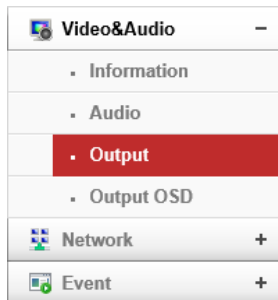
RTSP ストリーム URL を示します。

映像	音声	ストリームアドレス
Primary	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1+audio1
Primary	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1
Secondary#1	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s1+audio1
Secondary#1	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s1
Secondary#2	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s2+audio1
Secondary#2	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s2
Secondary#3	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s3+audio1
Secondary#3	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s3
Secondary#4	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s4+audio1
Secondary#4	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s4
無し	有り	rtsp://192.168.10.100:554/audio1

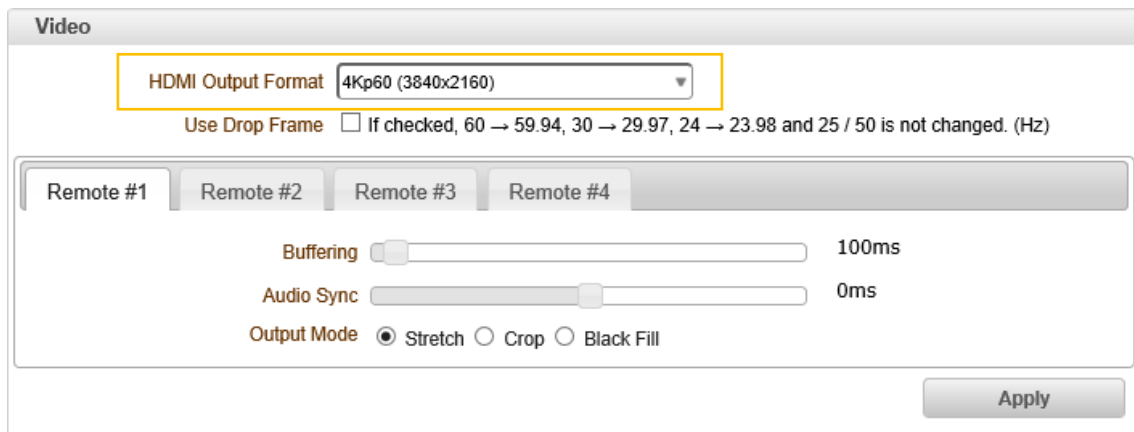
※上記の例は、IP アドレス及び RTSP ポート番号が初期値である場合の URL です。


8.8. 出力インタフェースの変更

1. Video&Audio の Output をクリックします。



2. HDMI Output Format より、HDMI の出力形式を選択します。




3. 一度  をクリックし、設定を反映させます。

4. HDMI から出力する映像を単画面 (Channel 1-4)、2 分割 (ch1+ch2/ch3+ch4)、4 分割 (Quad)、ローテーションから選択します。

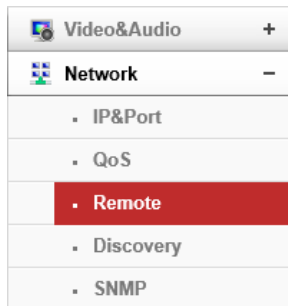
2 チャンネル以上表示する場合は、どのチャンネルから音声を出力させるのか設定します。



5.  をクリックし、設定を反映させます。

8.9. 映像受信

Network の“Remote”をクリックします。



- TCS-8500(エンコーダ)からの映像受信


1. Remote Type は“Normal”を選択します。

Address に送信元の TCS-8500 の IP アドレス、Port にはエンコーダの Base Port を入力します。

 A screenshot of a configuration window titled 'Remote #1'. It contains several fields for configuring a remote connection:

- Remote Type: Normal (dropdown menu)
- Media Protocol: TCP (dropdown menu)
- Address: 192.168.10.100 (text input)
- Port: 2222 (text input)
- Remote Channel: Channe#1 (dropdown menu)
- Use Streaming Server: Off (dropdown menu)
- SS IP Address: 192.168.10.22 (text input)
- SS Port: 2222 (text input)
- ID: (empty text input)
- Password: (empty text input)
- Overlapped Connection: Enable (dropdown menu) with a note: (Keep previous connection until new connection is established.)

※エンコーダの Base port は、Network>IP&Port>Port に設定されています。

2. 画面右下の  をクリックし、設定を反映させます。

※“Remote”にて映像受信を設定すると、画面表示していない場合もバックグラウンドでストリームを受信し続けます。

- RTSP 映像受信

1. Remote Type は RTSP を選択します。

Address に RTSP ストリームの URL、Port に RTSP のポート番号を入力します。

※上図のように Address にポート番号が含まれている場合、Port は 0 を入力します。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

- ONVIF 映像受信

1. Remote Type は ONVIF を選択します。

ONVIF 対応カメラの IP アドレスとポート番号、カメラの ID/Password を入力します。

すべて入力し **Get Profile List** をクリックすると、Profile を取得します。

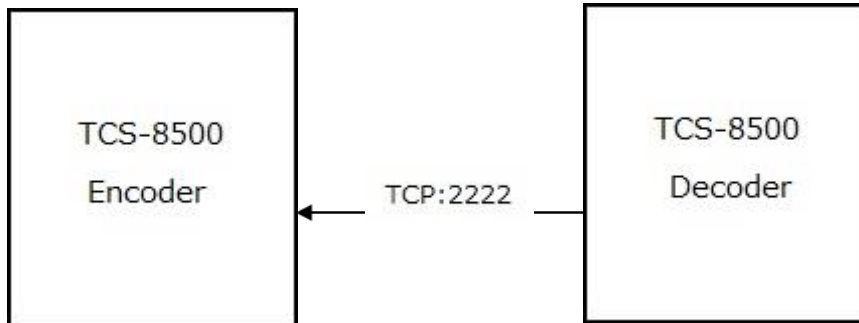
2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

8.10. ポート開放の設定

WAN 経由で通信を行う場合は、ルータでポートフォワーディングの設定を行う必要があります。

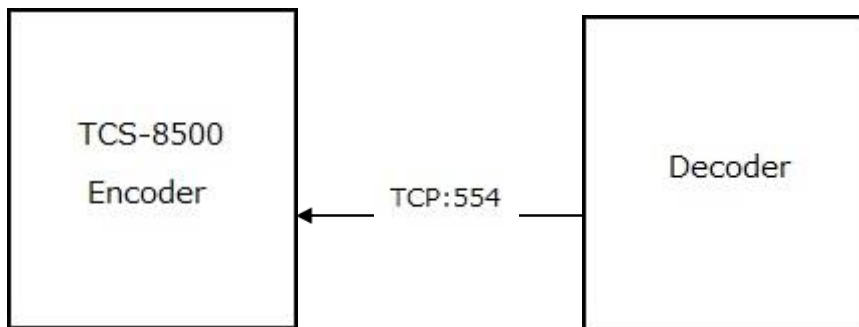
※下記の例は、TCS-8500 のポート設定が初期状態の場合のものです。

- Normal (TCS-8500 Encoder → TCS-8500 Decoder)
 - ・TCP Port 2222 :TCS-8500 Encoder ← TCS-8500 Decoder
 - エンコーダ側のルータで TCP:2222 をポートフォワーディングします。



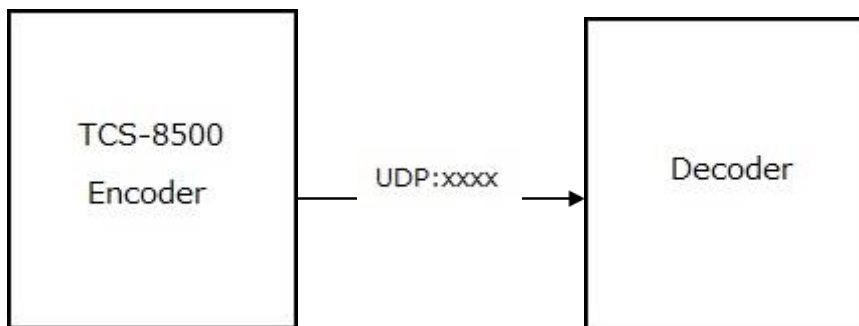
※WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択して下さい。

- RTSP (TCS-8500 Encoder → Decoder)
 - ・TCP Port 554 :TCS-8500 Encoder ← Decoder
 - エンコーダ側のルータで TCP:554 をポートフォワーディングします。



※WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択して下さい。

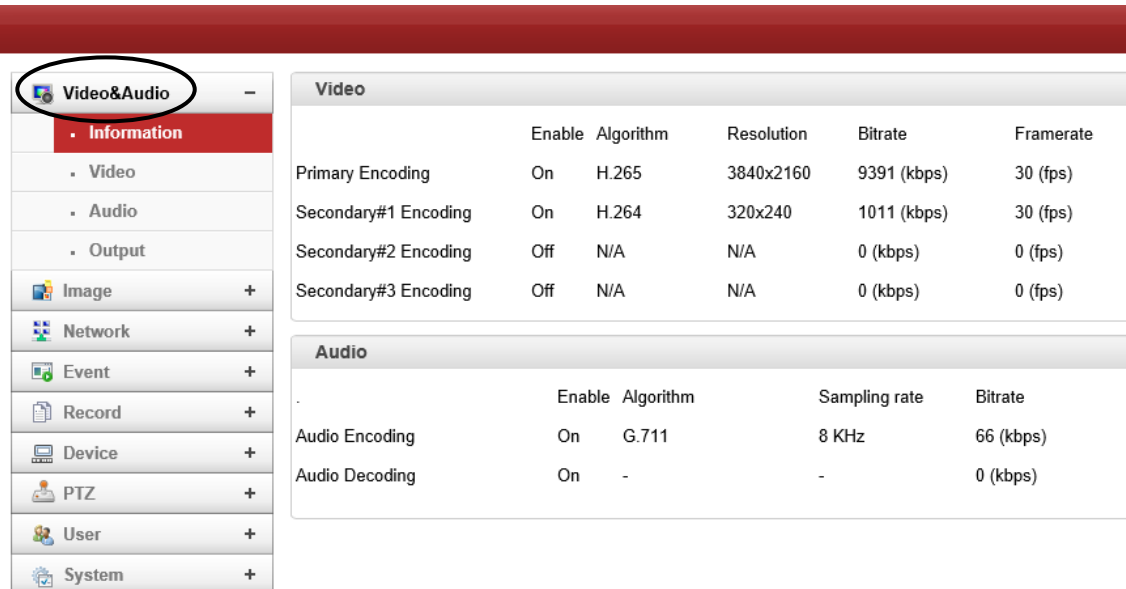
- MPEG-TS (TCS-8500 Encoder → Decoder)
 - ・UDP Port xxxx :TCS-8500 Encoder → Decoder
 - デコーダ側のルータで、指定した UDP ポートをポートフォワーディングします。



9. Setup メニュー

9.1. Video&Audio

SETUP メニュー画面から”Video&Audio”タブをクリックします。



➤ Video&Audio メニュー(Encoder)

表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
Video	ビデオ入力形式の選択、解像度やビットレートなどの設定を行います。
Audio	オーディオ入力の設定を行います。
Output	ビデオとオーディオの出力設定を行います。

➤ Video&Audio メニュー(Decoder)

表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
Audio	オーディオ入力の設定を行います。
Output	ビデオとオーディオの出力設定、ディスプレイの設定を行います。
Output OSD	ディスプレイに表示させる OSD の設定を行います。

9.1.1. Information

Video&Audio -	
• Information	
• Video	
• Audio	
• Output	
Image	+
Network	+
Event	+
Record	+
Device	+
PTZ	+
User	+
System	+

Video					
	Enable	Algorithm	Resolution	Bitrate	Framerate
Primary Encoding	On	H.265	3840x2160	9627 (kbps)	30 (fps)
Secondary#1 Encoding	On	H.264	320x240	984 (kbps)	30 (fps)
Secondary#2 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
Secondary#3 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)

Audio				
	Enable	Algorithm	Sampling rate	Bitrate
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	57 (kbps)
Audio Decoding	On	G.711	8 KHz	8 (kbps)

表示	説明
Video	<p><u>エンコーダ</u></p> <p>ビデオ (Primary/Secondary#1-3) のエンコーディング情報を表示します。</p> <p><u>デコーダ</u></p> <p>各チャンネル (Remote #1-4) に登録したビデオソースのデコーディング情報を表示します。</p>
Audio	オーディオのエンコーディング・デコーディング情報を表示します。

9.1.2. Video

Video&Audio -

- Information
- Video**
- Audio
- Output

Image +

Network +

Event +

Record +


Device +

PTZ +

User +

System +

View



Performance Calculation

Performance Usage Rate **58%**

Video

Input Format HDMI 3840x2160p30

Video Input Auto Detect Off

Detected Format HDMI 3840x2160p30 (RGB) (3840,2160) Input Auto Detect

Primary Secondary#1 Secondary#2 Secondary#3

Algorithm ☐ H.264 ☒ H.265

Resolution 3840x2160 ☒ Scaling

Framerate 30

Preference CBR

Quality Economy

Bitrate 16000 kbps (32 ~ 49152)

I-Frame Interval 30

ROI Enable Off

※Encoder のみ

● Performance Calculation

Performance Calculation

Performance Usage Rate **49%**

表示	説明
Performance Usage Rate	本機のパフォーマンス使用率を表示します。 この値が 100%を越えないように”Video”の設定を行います。

〈例〉 最大エンコードパフォーマンス ⇒ Primary: 3840x2160p60 + Secondary#1: 720x480p30

- Video

表示	説明
Input Format	リストから入力形式を選択します。[Max: 3840x2160p60]
Video Input Auto Detect	ビデオの検出モードを選択します。 Off: 手動で入力形式を選択するか、Input Auto Detect ボタンをクリックして入力形式を検出させます。 Full Auto: 自動検出し、エンコーディング解像度を固定します。 Semi Auto: 自動検出し、エンコーディング解像度を選択できます。
Detected Format	エンコーダに接続されているソース(HDMI)と、ビデオ情報(解像度やフレームレート等)を表示します。
Input Auto Detect	クリックすると、適切な入力形式を検出できます。 “Video Input Auto Detect”が Off の場合のみ使用可能。

Primary

表示	説明
Algorithm	H.264 または H.265 から圧縮方式を選択します。
Resolution	エンコーディング解像度を選択します。[Max: 3840 × 2160] Scaling は入力解像度とエンコーディング解像度が異なる場合に使用されます。チェックありの場合は、入力ビデオはエンコーディング解像度に従っ

	て調整されます。チェックなしの場合は、入力ビデオはエンコーディング解像度に合わせて切り抜かれます。
Framerate	フレームレートを選択します。[Max:60]
Preference	エンコードモードを選択します。 ビデオ品質 (VBR) またはビットレート (CBR, Hybrid) を制御します。
Quality	“Preference” で VBR を選択した場合、品質を指定します。[全 8 種類]
Bitrate	“Preference” で CBR または Hybrid を選択した場合、ビットレートを入力します。 [32-49152kbps] ※UDP で映像伝送する場合、最大 10-15Mbps で設定してください。
I-Frame Interval	I-Frame を送信する間隔を設定します。[0-255]
H.264 Profile	“Algorithm” で H.264 を選択した場合、プロファイルを High Profile/Main Profile/Baseline Profile から選択します。
ROI Enable	指定した領域以外のフレームレートを低くすることができます。

Secondary #1～#3

Primary Secondary#1 Secondary#2 Secondary#3

Enable ☐ Off ☒ On

Algorithm ☒ H.264 ☐ MJPEG ☐ H.265

Resolution ☒ Scaling

Framerate

Preference

Quality

Bitrate kbps (32 ~ 4096)

I-Frame Interval 30

H.264 Profile

ROI Enable

表示	説明
Enable	Secondary を使用する場合、ON にします。
Algorithm	H.264 または H.265 、MJPEG から圧縮方式を選択します。※1
Resolution	エンコーディング解像度を選択します。[Max:3840×2160] Scaling は入力解像度とエンコーディング解像度が異なる場合に使用されます。チェックありの場合は、入力ビデオはエンコーディング解像度に従って調整されます。チェックなしの場合は、入力ビデオはエンコーディング解像度に合わせて切り抜かれます。
Framerate	フレームレートを選択します。
Preference	エンコードモードを選択します。

	ビデオ品質 (VBR) またはビットレート (CBR, Hybrid) を制御します。
Quality	“Preference” で VBR を選択した場合、品質を指定します。[全 8 種類]
Bitrate	“Preference” で CBR または Hybrid を選択した場合、ビットレートを入力します。 [32-4096kbps]
I-Frame Interval	I-Frame を送信する間隔を設定します。[1-255]
H.264 Profile	“Algorithm” で H.264 を選択した場合、プロファイルを選択します。
ROI Enable	指定した領域以外のフレームレートを低くすることができます。

※1 MJPEG は Full HD まで、Normal または RTSP モードのみサポートとなります。

また、Preference は VBR のみサポートのため、ビットレートは設定できません。

(Full HD/30fps、Quality=Ultra Fine のとき、40Mbps 程度)

ROI Enable

H.264 と H.265 を選択した場合、ROI(関心領域)を設定できます。

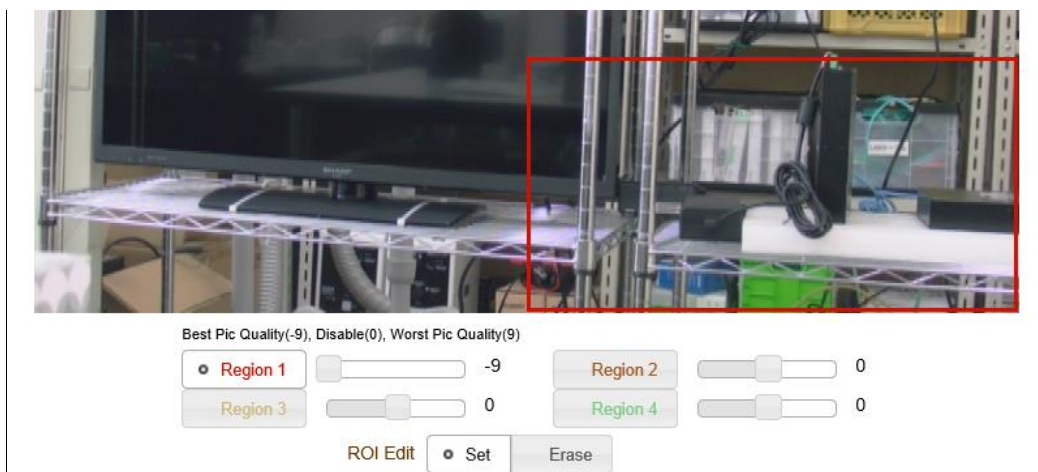
① ROI Enable を On(有効)にします。

non-ROI Background Framerate では、指定領域外のフレームレートを現在の Framerate の 1/1、1/2、1/4、1/8 にするかを選択します。

ROI Enable	On
non-ROI Background Framerate	1/4

※Framerate: 20fps、non-ROI Background Framerate: 1/4 の場合、指定領域外では 5fps

② View 画面下の ROI Edit を Set にします。Region1-4 のレベルを設定し、View 画面上に関心領域(赤枠)を指定します。Erase を選択してから View 画面をクリックすると、関心領域が削除されます。



※レベルが低いほど画質が良くなり、レベルが高いほど画質が悪くなります。0 を選択した場合、ROI は無効になります。

③ ROI 設定が完了しましたら、Apply をクリックします。

9.1.3. Audio

The screenshot shows the 'Video&Audio' settings menu on the left, with 'Audio' selected. The main window displays the 'Audio' configuration settings:

- Audio Source: Embedded Audio
- Algorithm: AAC
- Output Algorithm: G.711
- Sampling rate: 32 kHz
- Bitrate: 64kbps
- Mode: Tx & Rx

An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration window. Below the configuration window is the 'Input Gain' section, which includes a slider and a numerical value of 9.

● Audio

This is a detailed view of the 'Audio' configuration window, showing the same settings as the previous screenshot:

- Audio Source: Embedded Audio
- Algorithm: AAC
- Output Algorithm: G.711
- Sampling rate: 32 kHz
- Bitrate: 64kbps
- Mode: Tx & Rx

An 'Apply' button is located at the bottom right.

表示	説明
Audio Source	音声の入力方式を設定します。 Embedded Audio: 映像に音声信号を組み込む(HDMI 入力) Analog Mic-In/Line-In: 映像と音声を別々に入力(MIC/LINE 入力)
Algorithm	G.711 または AAC を選択します。
Output Algorithm	双方向音声時に使用します。 デコーダの Algorithm 設定と一致させる必要があります。
Sampling rate	サンプリング周波数を選択します。[32kHz/44.1kHz/48kHz]
Bitrate	ビットレートを選択します。[32kbps/64kbps/128kbps/192kbps]
Mode	オーディオ動作モードを Off(送受信なし)、Tx-only(送信のみ)、Rx-only(受信のみ)、Tx & Rx(送受信)から選択します。

● Input Gain

LINE IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0-31]

The screenshot shows the 'Input Gain' slider, which is currently set to 15. The slider is located within a window titled 'Input Gain'.

9.1.4. Output—Encoder

● Video

表示	説明
Preview Output	HDMI OUT からの映像出力(ループアウト)を有効にします。
Output Format	出力解像度とフレームレートを選択します。
Use Drop Frame	チェックを入れた場合、ドロップフレーム(60→59.94/30→29.97/24→23.98)が有効になります。25/50 は変更されません。

※入力形式が 3840x2160p60 (p50) で Preview Output を有効にすると、エンコードのパフォーマンスが低下する可能性があります。

● Audio

表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 Decoded Audio: 入力した音声は LAN 経由でデコーダに送信されます。 Loopback: 入力した音声をループバックし、エンコーダの LINE OUT と HDMI OUT から出力します。

※エンコードオーディオの Algorithm : Normal と RTSP (G.711/AAC)、MPEG-TS と SRT (AAC のみ)

9.1.5. Output—Decoder

● Video

表示	説明
HDMI Output Format	出力解像度を選択します。
Use Drop Frame	チェックを入れた場合、ドロップフレーム(60→59.94/30→29.97/24→23.98)が有効になります。25/50 は変更されません。
Buffering	各ビデオソースのバッファの調整を行います。 バッファを増やすことで、映像の乱れが安定する可能性があります。
Audio Sync	ビデオソースに合わせて音声の調整を行います。 ビデオ信号とオーディオ信号が同期していない場合に使用します。
Output Mode	ディスプレイの表示モードを選択します。 Stretch: アスペクト比を保持せず、ディスプレイ一杯に表示します。縦や横に伸びた映像になる場合があります。 Crop: 出力解像度に従ってトリミングを行います。映像の縦や横が切れる場合があります。 Black Fill: 出力解像度のアスペクト比を保持し、余分は黒く表示します。

- Audio

Audio	
Audio Output	<input checked="" type="radio"/> Decoded Audio <input type="radio"/> Loopback
<input type="button" value="Apply"/>	

表示	説明
Audio Output	<p>オーディオの出力方式を選択します。</p> <p>Decoded Audio: エンコーダ (LAN 経由) から受信した音声を、LINE OUT と HDMI OUT から出力します。</p> <p>デコーダの LINE IN から入力した音声はエンコーダに送信されます。※1</p> <p>Loopback: デコーダの LINE IN から入力した音声をループバックし、LINE OUT と HDMI OUT から出力します。</p>

※1 デコーダ→エンコーダの音声は、Normal (G.711/AAC) と SRT (AAC) をサポートしています。

- Display Mode

Display Mode	
HDMI	<div>Quad</div>
Audio in Multi Screen	<div>Mixed Audio</div>
<input type="button" value="Apply"/>	

表示	説明
HDMI	<p>HDMI OUT から出力するビデオソースの表示方法を選択します。</p> <p>Channel 1-4: 選択したチャンネルを単画面で表示します。</p> <p>Rotation: 登録されているチャンネルでローテーション再生を行います。</p> <p>再生時間は 5～60 秒で設定します。</p> <p>Quad: 全てのチャンネルを 4 分割で表示します。</p> <p>Vertical Dual(ch1+ch2): 左に ch1、右に ch2 の 2 分割で表示します。</p> <p>Vertical Dual(ch3+ch4): 左に ch3、右に ch4 の 2 分割で表示します。</p> <p>Horizontal Dual(ch1+ch2): 上に ch1、下に ch2 の 2 分割で表示します。</p> <p>Horizontal Dual(ch3+ch4): 上に ch3、下に ch4 の 2 分割で表示します。</p>
Audio in Multi Screen	<p>2 つ以上のビデオソースを出力する場合、音声出力の設定を行います。</p> <p>Mixed Audio: 表示されている全てのチャンネルから音声を出力します。</p> <p>Mute Audio: 音声出力を無効にします。</p> <p>Channel 1-4: 選択したチャンネルの音声を出力します。</p>

9.1.6. Output OSD

Video&Audio

- Information
- Audio
- Output
- Output OSD**
- Network
- Event
- Record
- Device
- PTZ
- User
- System

Channel#1
Channel#2
Channel#3
Channel#4

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	SRT	5	5	84	Green	<input checked="" type="checkbox"/>
2		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
5	Disconnect	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
6	Video Loss	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
7	No Data	480	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
8	Try Connecting	420	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.
Reserved keyword will be replaced.(%RA% -> Remote Address)

Operation OSD

	Wait Time	Display	User OSD
At Disconnect	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#5
At Video Loss	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#6
At No Data	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#7
At Try Connecting	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#8

Current State OSD

State OSD	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
Decoding State	5	950	84	White	<input checked="" type="checkbox"/>
Recording State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Local SystemID	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Time	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>

User-Bitmap OSD

OSD Enable Off

Information OSD

Enable Off

Apply

※Decoder のみ

- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD						
No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	SRT	5	5	84	Green ▼	<input checked="" type="checkbox"/>
2		0	0	30	White ▼	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White ▼	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White ▼	<input type="checkbox"/>
5	Disconnect	450	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>
6	Video Loss	450	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>
7	No Data	480	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>
8	Try Connecting	420	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.
Reserved keyword will be replaced.(%RA% -> Remote Address)

表示	説明
String	ディスプレイ上に表示させる任意の文字列を入力します。(最大 20 文字)
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
Enable	常にディスプレイ上に表示させる場合は、Enable にチェックを入れます。

- Operation OSD

Disconnect やビデオロス等が発生したときの、ディスプレイ状態、OSD 表示の設定を行います。

Operation OSD			
	Wait Time	Display	User OSD
At Disconnect	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#5 ▼
At Video Loss	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#6 ▼
At No Data	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#7 ▼
At Try Connecting	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#8 ▼

表示	説明
Wait Time	Action があったときに、OSD を表示するまでの時間を設定します。
Display	Action があったときの画面の状態を選択します。 Freeze: 映像の最後のフレームを表示させます。 Black Screen: 黒い画面を表示させます。 Blue Screen: 青い画面を表示させます。
User OSD	Action が起きた際 OSD を表示する場合は、“User-defined Burn-in OSD” で設定した中から選択します。Enable のチェックは外します。

- Current State OSD

現在のステータス情報を OSD 表示します。

Current State OSD						
State OSD	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable	
Decoding State	5	950	84	White	<input checked="" type="checkbox"/>	
Recording State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Local SystemID	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Time	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	

表示	説明
OSD State	ステータス情報を表示します。 Decoding State (圧縮方式・ビットレート・フレームレートのデコード情報)、Recording State (録画容量)、Local System ID (デコーダ本機の ID)、Remote System ID/List Name (エンコーダの ID※1 または Decode List のリスト名)、Time (現在の時刻)
X-Coord	X 座標 (横の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標 (縦の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
Enable	常に画面に表示する場合、チェックを入れます。

※1 Remote Type を Normal で接続したときのみ、エンコーダの System ID が表示されます。

- User-Bitmap OSD

ビットマップ表示の設定を行います。

User-Bitmap OSD	
OSD Enable	On
X-Coord(0~1000)	0
Y-Coord(0~1000)	0
Upload Bitmap	参照... Upload Bitmap

表示	説明
OSD Enable	ビットマップの有効(On)/無効(Off)を選択します。
X-Coord	X 座標 (横の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標 (縦の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Upload Bitmap	参照...をクリックして、ビットマップを選択します。Upload Bitmap をクリックしてアップロードに成功した場合、Current Bitmap に画像が表示されます。 ※使用できるビットマップは 24bit のみです。

- Information OSD

本機の情報(ファームウェアバージョンや IP アドレス等)について表示を行います。

Information OSD

Enable On ▼

X-Coord(0~1000) 200

Y-Coord(0~1000) 300

Font Size(12~84) 30

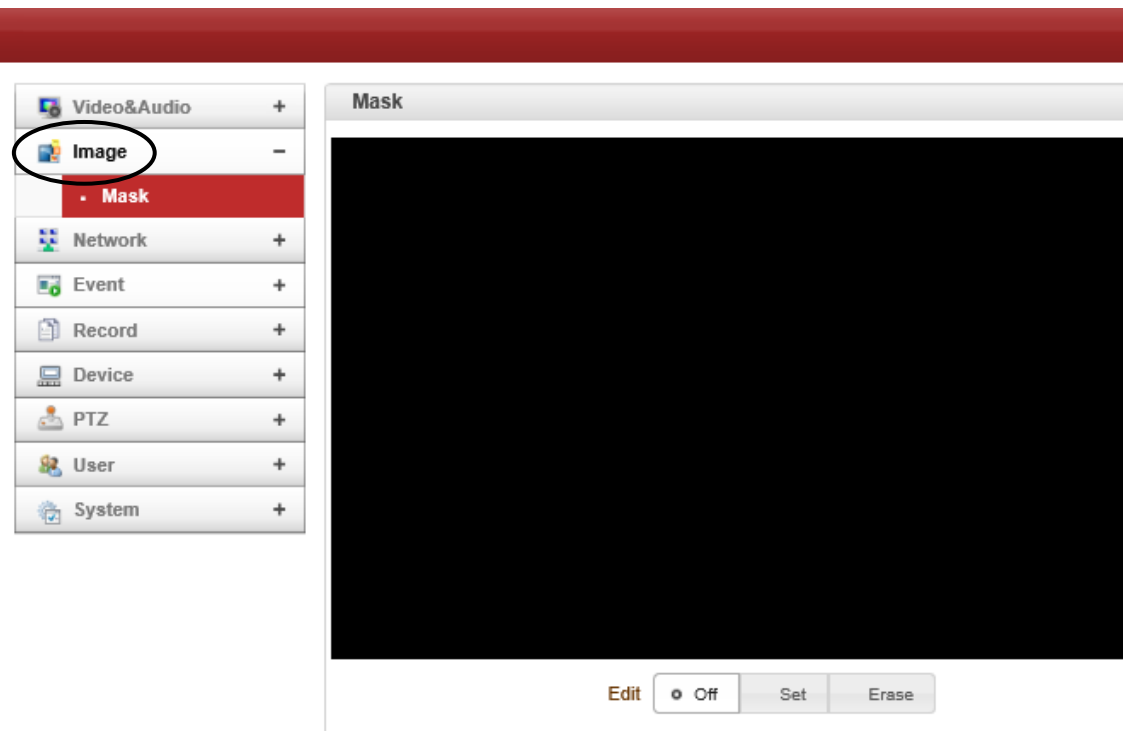
Font Color White ▼

Window Color Black ▼

表示	説明
OSD State	Information OSD の有効(On)/無効(Off)を設定します。 Model、Version、IP、Remote Type、Remote Address を表示します。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Font Color	フォントの色を設定します。
Window Color	バックのウィンドウの色を設定します。

9.2. Image

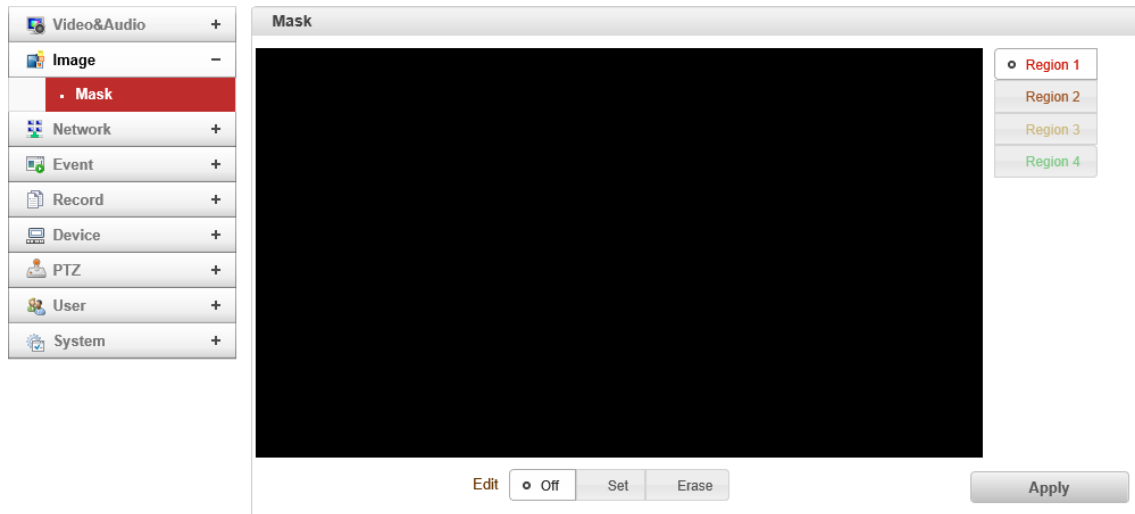
SETUP メニュー画面から”Image”タブをクリックします。



➤ Image メニュー (Encoder)

表示	説明
Mask	指定した領域を非表示にする(隠す)ことができます。

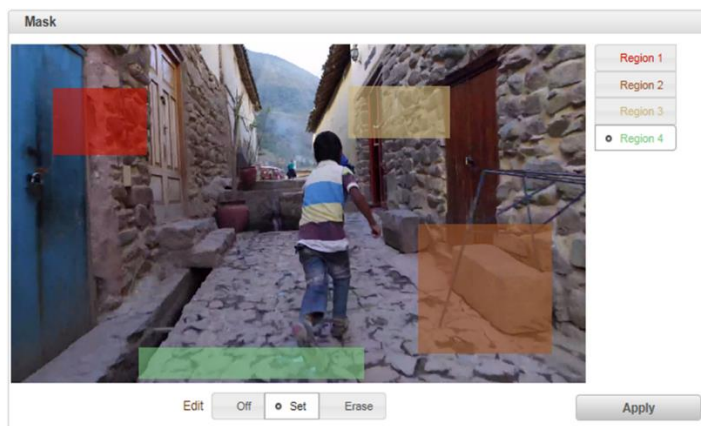
9.2.1. Mask



表示	説明
Edit	Off: マスク設定を無効にします。 Set: マスク(非表示にする領域)を指定します。 Erase: マスクを削除します。
Region 1～4	マスクの領域は最大 4 ヲ所に設定できます。

Mask の追加

- ① Edit より”Set”を選択します。
- ② Region 1-4 を選択し、画面上で非表示にする領域をドラッグして指定します。
Region 毎にボックスの色が違います。

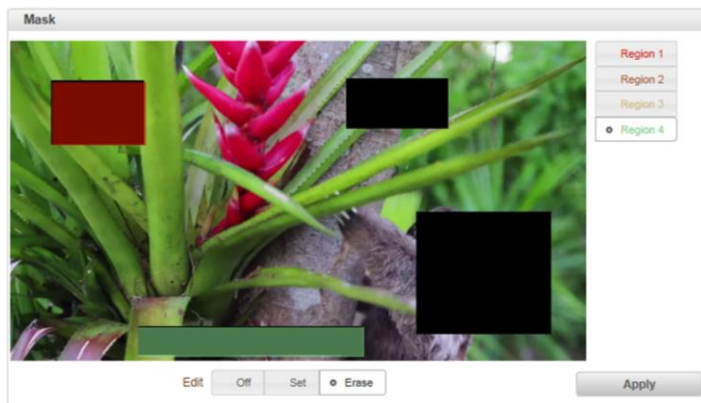


- ③ Apply をクリックします。
- ④ 再生画面では、指定した領域は黒色のボックスで隠されます。



Mask の削除

- ① Edit より”Erase”を選択します。
- ② 画面上の削除したい Region 領域をクリックすると、色付きボックスから黒色のボックスに変わります。



- ③ Apply をクリックします。
- ④ Mask 画面上からも、再生画面からも黒色のボックスが削除されます。



9.3. Network

SETUP メニュー画面から”Network”タブをクリックします。

Local

IP Mode: Fixed IP

Local IP: 192.168.10.100

Local Gateway: 192.168.10.1

Local Subnet: 255.255.255.0

DNS

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server: 8.8.8.8

Secondary DNS Server: 8.8.8.8

IPv6

IPv6 Address:

IPv6 Subnet Prefix Length: 0

IPv6 Default Gateway:

IPv6 LinkLocal: fe80::21c:63ff:febf:b7/64

Port

Base Port: 2222 (1025~65535)

HTTP Port: 80 (80, 1025~65535)

HTTPS Port: 443 (443, 1025~65535)

➤ Network メニュー(Encoder)

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
RTSP Multicast	RTSP マルチキャストの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Discovery	UPnP などの設定を行います。
One-way	片方向ストリーミング(MPEG-TS、RTMP)の設定を行います。
SRT	SRT の設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
IP filtering	データのやり取りを行う相手を制限できます。

E-mail	Event が起きた際の通知 E-mail の送信設定を行います。
FTP	FTP アップロードの設定を行います。
Connecting	現在システムに接続しているクライアントを表示します。

➤ **Network メニュー(Decoder)**

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU などの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Remote	デコードに関する設定を行います。
Discovery	UPnP などの設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
IP filtering	データのやり取りを行う相手を制限できます。
Connecting	現在システムに接続しているクライアントを表示します。
Decode List	デコード対象を複数台登録し、自動巡回表示を行います。

9.3.1. IP&Port

Video&Audio +	<div>Local</div> <div> IP Mode <input type="text" value="Fixed IP"/> </div> <div> Local IP <input type="text" value="192.168.10.100"/> </div> <div> Local Gateway <input type="text" value="192.168.10.1"/> </div> <div> Local Subnet <input type="text" value="255.255.255.0"/> </div> <div>DNS</div> <div> <input type="radio"/> Obtain DNS server address automatically <input checked="" type="radio"/> Use the following DNS server addresses </div> <div> Primary DNS Server <input type="text" value="8.8.8.8"/> </div> <div> Secondary DNS Server <input type="text" value="8.8.8.8"/> </div> <div>IPv6</div> <div> IPv6 Address <input type="text"/> </div> <div> IPv6 Subnet Prefix Length <input type="text" value="0"/> </div> <div> IPv6 Default Gateway <input type="text"/> </div> <div> IPv6 LinkLocal <input type="text" value="fe80::21c:63ff:febf:b764"/> </div> <div>Port</div> <div> Base Port <input type="text" value="2222"/> (1025~65535) </div> <div> HTTP Port <input type="text" value="80"/> (80, 1025~65535) </div> <div> HTTPS Port <input type="text" value="443"/> (443, 1025~65535) </div> <div> RTSP Port <input type="text" value="554"/> (554, 1025~65535) </div> <div> Audio Receive Port <input type="text" value="2280"/> (1025~65535) </div> <div>MTU Size</div> <div> MTU Size <input type="text" value="1500"/> (default: 1500, 68~) </div> <div>Multicast</div> <div> Multicast IP <input type="text" value="224.10.0.0"/> (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255) </div> <div> TTL <input type="text" value="64"/> (1~255) </div>
Image +	
Network -	
IP&Port	
RTSP Multicast	
QoS	
Discovery	
One-way	
SRT	
SNMP	
DDNS	
IP filtering	
E-mail	
FTP	
Connecting	
Event +	
Record +	
Device +	
PTZ +	
User +	
System +	

Apply

- Local

Local

IP Mode

Fixed IP

Local IP

192.168.10.100

Local Gateway

192.168.10.1

Local Subnet

255.255.255.0

表示	説明
IP Mode	Fixed IP (手動設定) または DHCP (自動取得) を選択します。
Local IP	IP アドレスを設定します。 初期値: 192.168.10.100
Local Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値: 192.168.10.1
Local Subnet	サブネットマスクを設定します。 初期値: 255.255.255.0

※Local 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- DNS

DNS

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server

8.8.8.8

Secondary DNS Server

8.8.8.8

表示	説明
Obtain DNS Server Address automatically	IP モードが DHCP の場合、自動的に DNS サーバのアドレスを取得します。
Use the following DNS server address	DNS サーバのアドレスを入力します。
Primary DNS Server	Primary の DNS サーバのアドレスを入力します。
Secondary DNS Server	Secondary の DNS サーバのアドレスを入力します。

※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- IPv6

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

IPv6	
IPv6 Address	<input type="text"/>
IPv6 Subnet Prefix Length	<input type="text" value="0"/>
IPv6 Default Gateway	<input type="text"/>
IPv6 LinkLocal	fe80::21c:63ff:febf:c3/64

※IPv6 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- Port

Port	
Base Port	<input type="text" value="2222"/> (1025~65535)
HTTP Port	<input type="text" value="80"/> (80, 1025~65535)
HTTPS Port	<input type="text" value="443"/> (443, 1025~65535)
RTSP Port	<input type="text" value="554"/> (554, 1025~65535)
Audio Receive Port	<input type="text" value="2280"/> (1025~65535)

表示	説明
Base Port	ベースポート番号を入力します。 初期値: 2222 [1025~65535] ※変更した場合、本機は自動で再起動を行います。
HTTP Port	Web ベースの接続に使用する HTTP ポート番号を入力します。 初期値: 80 [1025~65535]
HTTPS Port	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値: 443 [1025~65535]
RTSP Port	RTSP ベースの接続に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値: 554 [1025~65535]
Audio Receive Port	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

- MTU Size

MTU Size	
MTU Size	<input type="text" value="1500"/> (default: 1500, 68~)

表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値: 1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- Multicast

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

Multicast	
Multicast IP	<input type="text" value="224.10.0.0"/> (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	<input type="text" value="64"/> (1~255)

※Multicast 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

9.3.2. RTSP Multicast

Video&Audio +	RTSP Multicast <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Multicast IP</th> <th>Port</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Primary</td> <td>224.10.0.0</td> <td>64704</td> </tr> <tr> <td>Secondary #1</td> <td>224.10.0.0</td> <td>64706</td> </tr> <tr> <td>Secondary #2</td> <td>224.10.0.0</td> <td>64722</td> </tr> <tr> <td>Secondary #3</td> <td>224.10.0.0</td> <td>64724</td> </tr> <tr> <td>Audio</td> <td>224.10.0.0</td> <td>64802</td> </tr> <tr> <td>Metadata</td> <td>224.10.0.0</td> <td>64902</td> </tr> </tbody> </table>		Multicast IP	Port	Primary	224.10.0.0	64704	Secondary #1	224.10.0.0	64706	Secondary #2	224.10.0.0	64722	Secondary #3	224.10.0.0	64724	Audio	224.10.0.0	64802	Metadata	224.10.0.0	64902
		Multicast IP	Port																			
Primary		224.10.0.0	64704																			
Secondary #1		224.10.0.0	64706																			
Secondary #2		224.10.0.0	64722																			
Secondary #3		224.10.0.0	64724																			
Audio		224.10.0.0	64802																			
Metadata		224.10.0.0	64902																			
Image +																						
Network -																						
• IP&Port																						
• RTSP Multicast																						
• QoS																						
• Discovery																						
• One-way																						
• SRT																						
• SNMP																						
• DDNS																						
• IP filtering																						
• E-mail																						
• FTP																						
• Connecting																						
Event +																						
Record +																						
Device +																						
PTZ +																						
User +																						
System +																						

Apply

※Encoderのみ

● RTSP Multicast

RTSP Multicast		
	Multicast IP	Port
Primary	224.10.0.0	64704
Secondary #1	224.10.0.0	64706
Secondary #2	224.10.0.0	64722
Secondary #3	224.10.0.0	64724
Audio	224.10.0.0	64802
Metadata	224.10.0.0	64902

表示	説明
Primary	Primary で再生する場合、ネットワーク URL は以下のように入力します。 例 [rtsp://admin:1234@192.168.10.100:554/video1]
Secondary #1～#3	Secondary で再生する場合、ネットワーク URL は以下のように入力します。 [rtsp://admin:1234@192.168.10.100:554/video1s1]
Audio	音声付きで再生する場合、ネットワーク URL は以下のように入力します。 [rtsp://admin:1234@192.168.10.100:554/video1+audio1]
Metadata	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Multicast IP	各マルチキャストアドレスを設定します。
Port	ポート番号を設定します。

※VLC で再生するときは、オプションの編集を [rtsp-mcast=1] にする必要があります。

9.3.3. QoS

Video&Audio +

Image +

Network -

IP&Port

RTSP Multicast

QoS

Discovery

One-way

SRT

SNMP

DDNS

IP filtering

E-mail

FTP

Connecting

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

QoS

QoS Enable Off

Apply

● QoS

QoS

QoS Enable On

DSCP 0 (0~63)

Apply

表示	説明
QoS Enable	QoS を有効にする場合、On にします。
DSCP	DSCP の値を入力します。[0-63]

9.3.4. Remote

※Decoder のみ

● Remote

表示	説明
Web Display	Web ブラウザの Live メニュー等に表示させるビデオソースを Remote #1-4 から選択します。 VLC 等に【rtsp://<Decoder IP>:<RTSP Port>/video1】を入力すると、選択した Remote 番号のビデオソースを表示します。
Recoding	録画を行うビデオソースを Remote #1-4 から選択します。
Remote #1-4	ビデオソースを最大 4 つ設定できます。 各ビデオソースの説明は以下に示します。

※“Remote”にて映像受信を設定すると、画面表示していない場合もバックグラウンドでストリームを受信し続けます。

➤ Normal

TCS-8500 同士のエンコーダおよびデコーダで接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="Normal"/>			
Media Protocol <input type="text" value="TCP"/>			
Address <input type="text" value="192.168.10.100"/>			
Port <input type="text" value="2222"/>			
Remote Channel <input type="text" value="Channel#1"/>			
Use Streaming Server <input type="text" value="Off"/>			
SS IP Address <input type="text" value="0.0.0.0"/>			
SS Port <input type="text" value="2222"/>			
ID <input type="text" value=""/>			
Password <input type="text" value=""/>			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	Normal を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	接続するエンコーダの IP アドレスを入力します。
Port	接続するエンコーダのベースポート番号を入力します。
Remote Channel	エンコーダから受信するチャンネルを選択します。 TCS-8500 は Channel#1 (Secondary#1-3 含む) のみ選択できます。
Use Streaming Server	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
SS IP Address	
SS Port	
ID	
Password	
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※双方向音声対応 (Algorithm は G.711/AAC 対応)

➤ RTSP

RTSP プロトコルによる接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="RTSP"/>			
Media Protocol <input type="text" value="TCP"/>			
Address <input type="text" value="rtsp://admin:admin@192.168."/>			
Port <input type="text" value="554"/>			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	RTSP を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	RTSP ストリーム URL を入力します。
Port	接続するエンコーダの RTSP ポート番号を入力します。 ※RTSP ストリーム URL の中で、ポート番号を指定している場合は 0 を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

上図の Address は TCS-8500 の RTSP 認証が有効である場合の URL を入力しています。

rtsp://<ID>:<Password>@<IP address>:<Port>/video1

RTSP 認証が無効の場合は、ID と Password の入力を省略できます。

➤ MPEG-TS

MPEG-TS によるユニキャスト接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="MPEG-TS"/>			
Address <input type="text"/>			
Port <input type="text" value="12345"/>			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

MPEG-TS によるマルチキャスト接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="MPEG-TS"/>			
Address <input type="text" value="239.1.1.1"/>			
Port <input type="text" value="1234"/>			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	MPEG-TS を選択します。
Address	ユニキャストの場合は空白にします。(エンコーダで宛先 IP アドレス指定) マルチキャストの場合は、マルチキャストアドレスを入力します。
Port	エンコーダと共通のポート番号を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ ONVIF

ONVIF 対応の IP カメラと接続

Remote #1
Remote #2
Remote #3
Remote #4

Remote Type ONVIF
Media Protocol TCP
Address 172.16.25.188
Port 80
ID admin
Password
Profile
Overlapped Connection Enable (Keep previous connection until new connection is established.)

Authentication may fail if the time setting of the device does not match up with the camera being connected.

Get Profile List

表示	説明
Remote Type	ONVIF を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	IP カメラの IP アドレスを入力します。
Port	IP カメラの ONVIF で使用するポート番号を入力します。
ID	ログイン名を入力します。
Password	ログインパスワードを入力します。
Profile	デコードするストリームのプロファイルを選択します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。
Get Profile List	“Get Profile List”をクリックすると、ストリームのプロファイルを取得できます。

➤ RTMP

RTMP(Real Time Messaging Protocol)による接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
<div>Remote Type <input type="text" value="RTMP"/></div> <div>Address <input type="text" value="Destination IP/StreamName"/></div> <div>Token <input type="text"/></div> <div>Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)</div>			

表示	説明
Remote Type	RTMP を選択します。
Address	エンコーダの Destination IP(配信サーバ名)/Stream Name(配信ストリーム名)を入力します。
Token	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※エンコーダの設定は、[9.3.6. One-way](#) の RTMP 設定を参照してください。

➤ SRT

SRT (Secure Reliable Transport) による接続

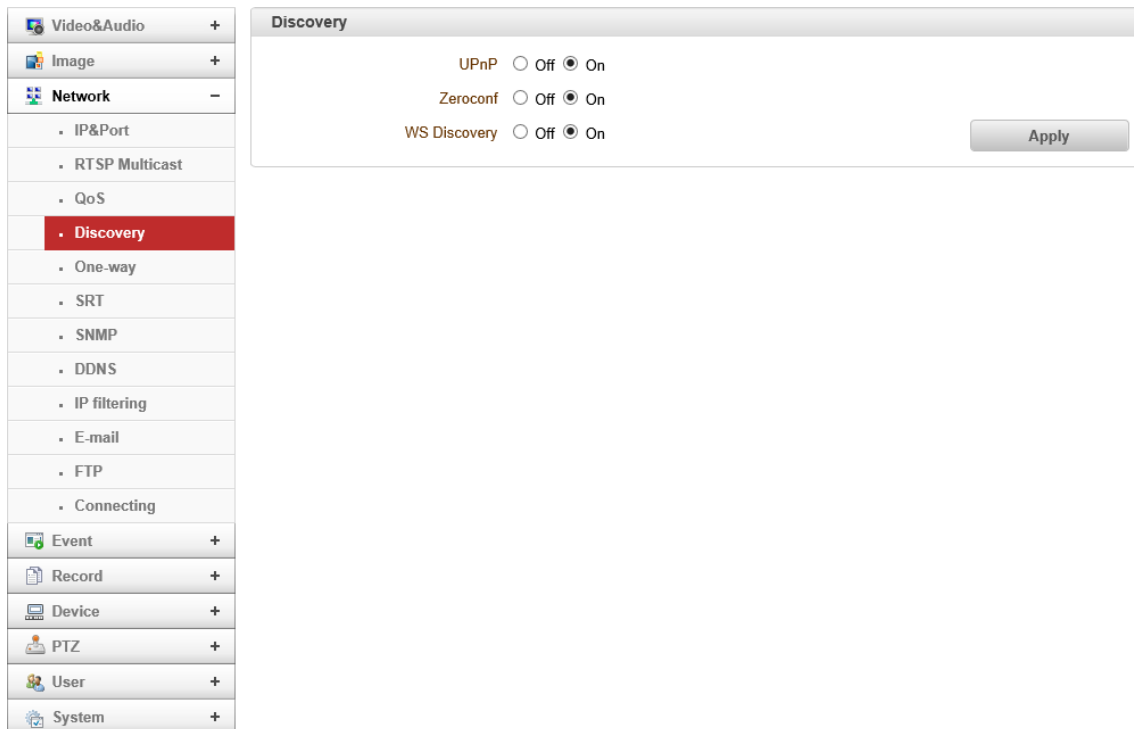
SRT は不安定なネットワーク環境に強いので、画像の劣化を防ぐことができます。

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
<div> Remote Type <input type="text" value="SRT"/> </div>			
<div> Mode <input type="text" value="Caller"/> </div>			
<div> Address <input type="text" value="192.168.10.100"/> </div>			
<div> Port <input type="text" value="1234"/> </div>			
<div> Secure <input type="text" value="AES-256"/> </div>			
<div> Passphrase <input type="text" value="....."/> </div>			
<div> Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.) </div>			

表示	説明
Remote Type	SRT を選択します。
Mode	Caller または Listener から選択します。 エンコーダが Listener である場合、デコーダは Caller を選択します。
Address	Caller を選択した場合、宛先 IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
Port	Listener と Caller で共通のポート番号を設定します。
Secure	AES-128 または AES-256 を選択し、AES 暗号化を有効にできます。
Passphrase	エンコーダとデコーダで、暗号化の共通のキーを入力してください。 (AES-128 の場合は 10-16 文字、AES-256 の場合は 10-32 文字)
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※エンコーダの設定は、[9.3.7.SRT](#) を参照してください。

※双方向音声対応 (Algorithm は AAC のみ対応)

9.3.5. Discovery

- Discovery



表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 UPnP を有効にすることで、ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効を選択します。 Zeroconf を有効にすることで、ホスト名 (TCS8500.local) が割り当てられ、ホスト名によって本機にアクセスできるようになります。
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 有効にすると、Onvif プロトコルによって本機にアクセスできるようになります。

※TCS-8500 が検出されない場合は、ファイアウォールを無効にしてください。

9.3.6. One-way

※Encoder のみ

● One-way Streaming

MPEG-TS

	Enable	Destination IP	Destination Port
Primary	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.10.110	50000
Secondary#1	<input checked="" type="checkbox"/>	239.1.1.1	12345
Secondary#2	<input type="checkbox"/>		0
Secondary#3	<input type="checkbox"/>		0

表示	説明
Mode	MPEG-TS を選択します。
Enable	片方向ストリーム配信を有効にする場合、チェックを入れます。
Destination IP	片方向ストリーム配信の宛先システムの IP アドレスを設定します。 ユニキャスト：宛先 IP アドレスを入力 (Primary) マルチキャスト：マルチキャストアドレスを入力 (Secondary#1)
Destination Port	片方向ストリーム配信の宛先システムのポート番号を入力します。

※MPEG-TS で映像配信する場合、Bitrate は最大 10～15Mbps で設定してください。

RTMP

One-way Streaming

Mode

H.265 RTMP Streaming is not supported.

Primary

Destination IP

StreamName

UserName

Password

Secondary#1

Secondary#2

Secondary#3

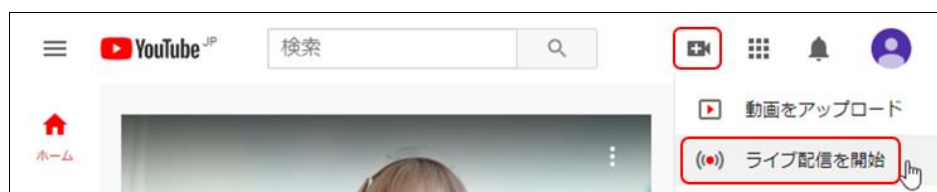
表示	説明
Mode	RTMP を選択します。RTMP 配信は H.265 に対応していません。
Primary Secondary#1～3	RTMP 配信を有効にする Primary または Secondary#1/2/3 は、Enable を選択し、以下の項目を入力します。
Destination IP	ストリーム URL を入力します。
Stream Name	ストリームの名前を入力します。
User Name	ユーザ名を入力します。
Password	パスワードを入力します。

RTMP 設定例:YouTube から Live 配信 (Google Chrome 推奨)

- ① Google アカウントの登録・ログインを行います。

Google
プロダクト技術部
hytec.tech@gmail.com
パスワードを入力
パスワードをお忘れの場合 次へ

- ② YouTube 画面の右上にある をクリックし、「ライブ配信を開始」を選択します。



③ 「新しいライブ配信」を選択します。

タイトルと公開範囲を設定し、「エンコーダ配信を作成」をクリックします。

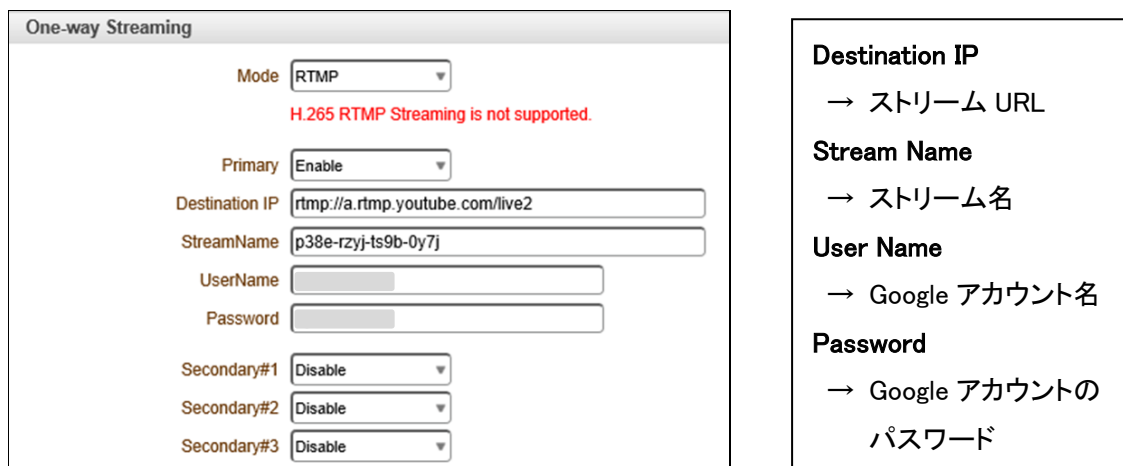


④ ライブ配信の設定より、「ストリーム名」と「ストリーム URL」をコピーします。



⑤ TCS-8500 より、Network>One-way の設定を行います。

RTMP モードを選択し、Live 配信を行うストリーム“Primary”を Enable、各項目を入力します。



⑥ YouTube の Live 配信画面に戻り、右上の「ライブ配信を開始」をクリックすると配信されます。



9.3.7. SRT

SRT(Secure Reliable Transport)は、信頼性の高い映像伝送プロトコルです。

映像データの暗号化、パケットロスのリカバリ機能などにより、安全でロスに強い映像伝送を可能にします。

※SRT(UDP)で映像伝送する場合、Bitrate は最大 10-15Mbps で設定してください。

※Encoder のみ

● SRT

Primary または Secondary#1-3 で Listener を選択した場合

表示	説明
Listener	SRT ストリームはサーバのように動作し、クライアントが接続するまで待機

	します。
Listen Port	SRT ストリームの UDP ポートを指定します。
Secure	AES 暗号化を Off(なし)、AES-128、AES-256 から選択します。
Passphrase	AES-128 を選択した場合は 10-16 文字の暗号化キー、AES-256 を選択した場合は 10-32 文字の暗号化キーを入力します。

Primary または Secondary#1-3 で Caller を選択した場合

SRT

Primary Caller

Destination Address 192.168.10.110

Destination Port 1234

Secure AES-256

Passphrase ●●●●●●●●●●

Secondary#1 Off

Secondary#2 Off

Secondary#3 Off

Maximum bandwidth is limited
and it can change according to status of network and devices setting.

表示	説明
Caller	SRT ストリームはクライアントのように動作し、呼び出しを行い待機しているサーバと接続します。
Destination Address	SRT ストリームの UDP 宛先(サーバ)アドレスを指定します。 IP アドレスまたはドメイン名を使用できます。
Destination Port	SRT ストリームの UDP 宛先(サーバ)ポートを指定します。
Secure	AES 暗号化を Off(なし)、AES-128、AES-256 から選択します。
Passphrase	AES-128 を選択した場合は 10-16 文字の暗号化キー、AES-256 を選択した場合は 10-32 文字の暗号化キーを入力します。

エンコーダで Listener を選択した場合、デコーダでは Caller を選択します。(反対も同様)

※デコーダの設定は、[9.3.4. Remote](#) の SRT を参照してください。

※音声対応(Algorithm は AAC のみ対応)

9.3.8. SNMP

The screenshot shows the 'SNMP' configuration page in the TCS-8500 web interface. The left sidebar lists various settings, with 'Network' expanded and 'SNMP' selected. The main configuration area contains the following fields:

- SNMP Listen Port:** 161 (Range: 0, 161, 1025~65535)
- SNMP Trap Destination IP:** 0.0.0.0
- SNMP Trap Destination Port:** 162 (Range: 0, 162, 1025~65535)
- SNMP Version:** 2c (Dropdown menu)

An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration panel.

● SNMP

This is a detailed view of the SNMP configuration form. It includes the same fields as the screenshot above:

- SNMP Listen Port:** 161 (Range: 0, 161, 1025~65535)
- SNMP Trap Destination IP:** 0.0.0.0
- SNMP Trap Destination Port:** 162 (Range: 0, 162, 1025~65535)
- SNMP Version:** 2c (Dropdown menu)

表示	説明
SNMP Listen Port	SNMP の待ち受けポートを設定します。 初期値: 161 [1025~65535] ※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP Trap Destination IP	SNMPトラップの送信先 IP を設定します。
SNMP Trap Destination Port	SNMPトラップの送信先ポートを設定します。 初期値: 162 [1025~65535] ※0 を設定すると SNMP Trap は無効 ※ビデオロス(Encoder)、センサーON/OFF 時に Trap 通知を行います。
SNMP Version	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。SNMP v3 を選択した場合は、「User Authentication and Privacy(v3)」を設定します。

※SNMPトラップを使用する場合は、ファイアウォールを無効にする必要があります。

「ビデオロス」「Sensor1/2」「Motion」が条件で、トラップは発生します。

- User Authentication and Privacy (v3)

SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。

User Authentication and Privacy (v3)

User

Authentication Protocol none ▼

Authentication Password

Privacy Protocol none ▼

Privacy Password

表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを None (ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none (暗号化なし)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号化パスワードを入力してください。※9 文字以上

9.3.9. DDNS

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

The screenshot displays a web-based configuration interface. On the left, a vertical sidebar contains a list of system settings categories: Video&Audio, Image, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'Network' category is expanded, revealing sub-items: IP&Port, RTSP Multicast, QoS, Discovery, One-way, SRT, SNMP, DDNS (highlighted in red), IP filtering, E-mail, FTP, and Connecting. The main panel on the right is titled 'DDNS'. It features a 'DDNS Server' dropdown menu currently set to 'None'. Below this is an unchecked checkbox labeled 'Check IP Disable'. An 'Apply' button is located in the bottom right corner of the DDNS configuration area.

9.3.10. IP filtering

IP Filtering

Basic Policy: Allow all

Access from IPs in the following list will not be allowed.

No.	From	To	Enable
1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
11	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
12	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
13	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
14	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
15	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
16	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
17	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
18	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
19	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
20	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>

Apply

● IP Filtering

表示	説明
Basic Policy	Allow all: リストにある IP アドレスからのアクセスを拒否します。 Deny all: リストにある IP アドレスからのみアクセスを許可します。
From / To	アクセスを拒否または許可したい IP アドレスの範囲を入力します。
Enable	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

9.3.11. E-mail

E-mail

Server Address

Port (25, 465, 587, 1025~65535)

Sender Address

Authentication on SMTP Server ☒ Off ☐ On

ID

Password

SSL ☒ Disable ☐ Enable

Destination Address E-mail Test

E-mail Notification

Video Clip Attaching

Number of Frame (1 ~ 6)

Capture Interval

Apply

※Encoder のみ

● E-mail

E-mail

Server Address

Port (25, 465, 587, 1025~65535)

Sender Address

Authentication on SMTP Server ☒ Off ☐ On


ID

Password

SSL ☒ Disable ☐ Enable

Destination Address E-mail Test

表示	説明
Server Address	メール送信(SMTP)サーバのアドレスを入力します。
Port	SMTP 操作のためのポートを指定します。 初期値: 25 [465, 587, 1025~65535]
Sender Address	使用する E-Mail アドレスを入力します。
Authentication on SMTP Server	E メールを送信する際に SMTP サーバでの認証を必要とする場合は、On にします。

ID	”Authentication on SMTP Server”が On の場合、 E メールアカウントの ID とパスワードを入力する必要があります。
Password	
SSL	SSL の有効または無効を選択します。
Destination Address	宛先アドレスを入力します。 ※63 文字まで入力可能。
	このボタンをクリックすると、Eメールの送信テストができます。 ※使用する前に Apply をクリックし、保存してください。

- E-mail Notification

E-mail Notification

Video Clip Attaching Disable ▼

Number of Frame 1 (1 ~ 6)

Capture Interval Skip 1 frame ▼


表示	説明
Video Clip Attaching	ビデオクリップの添付を有効または無効にするか選択します。
Number of Frame	“Video Clip Attaching”で”JPEG Capture”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-5]
Capture Interval	“Video Clip Attaching”で”JPEG Capture”を選択し、“Number of Frame”の値を 2 以上に設定した場合のキャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frame”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔でキャプチャします。

9.3.12. FTP

※Encoder のみ

● FTP

表示	説明
Server Address	ビデオファイルを受信するために、FTP サーバのアドレスを入力します。
Port	FTP 操作のためのポートを指定します。 初期値: 21 [1025-65535]
ID / Password	FTP サーバにアクセスするための ID とパスワードを入力します。
FTP Filename	FTP によりアップロードするファイル名をユーザが指定できます。※1 ※ファイル名は 60 文字まで。 ファイル名には、以下のマクロが使用できます。 %EVENT: イベントタイプ (Sensor1 等)、%ADD: サーバのアドレス %YYYY: 西暦、%MM: 月、%DD: 日、%hh: 時、%mm: 分、%ss: 秒

FTP Base Directory	FTP サーバに作成するディレクトリの名前を指定します。
	クリックすると、FTP アップロード機能をテストすることができます。 ※使用する前に Apply をクリックし、設定を保存してください。

※1 【例】 %EVENT_%YYYY.%MM.%DD_%hh.%mm.%ss → Sensor1_2020.05.19_10.07.31.jpg

- FTP Upload

FTP Upload

Upload Video

Primary Video

Number of Frame

1

(1 ~ 6)

Capture Interval

Skip 1 frame

Continuous Upload

Off

Upload Duration

10

sec (Max 300)

Upload Interval

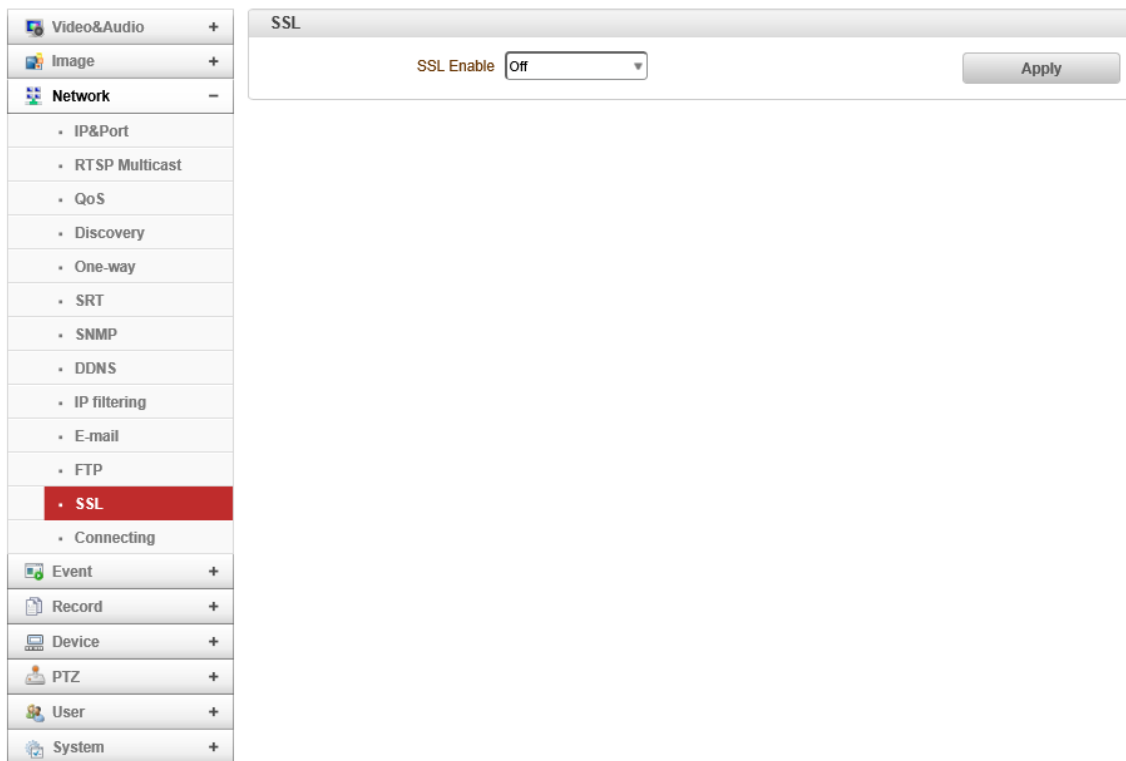
300

sec (Max 10800)

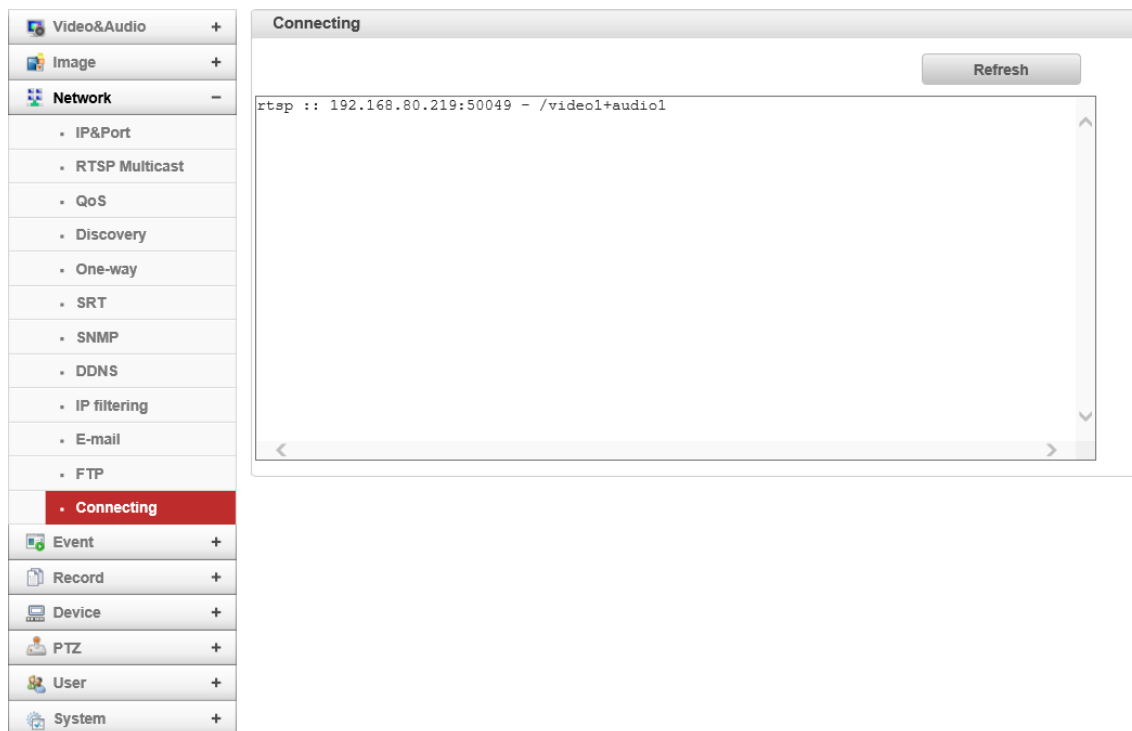
表示	説明
Upload Video	FTP サーバにアップロードするファイルを、Primary video、Secondary video(H.264 のみ)、JPEG キャプチャの中から選択します。
Number of Frame	“Upload Video”で“JPEG Capture”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-6]
Capture Interval	“Upload Video”で“JPEG Capture”を選択し、“Number of Frame”の値を 2 以上に設定した場合のキャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frame”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔でキャプチャします。
Continuous Upload	定期的な FTP サーバへのアップロードを有効または無効に設定します。 On の場合、下の二つが設定を行います。
Upload Duration	ビデオクリップの録画時間を指定し、アップロードします。[最大 300 秒] 一つのファイルの最大容量が 1.5MB 程度のため、設定時間より短い時間の録画ファイルが作成される場合があります。
Upload Interval	FTP サーバへのアップロード間隔を指定します。[最大 10800 秒]

9.3.13. SSL

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.3.14. Connecting



表示	説明
Connecting	現在システムに接続しているクライアント IP アドレスが記載されます。
Refresh	表示を更新します。

9.3.15. Decode List

※Decoder のみ

表示	説明
Switching Decode List Enable	Decode List を有効にする場合はチェックを入れます。 無効の場合は、 9.3.4. Remote で設定したビデオソースを再生します。
Name	ビデオソースの名前を入力します。
URL	URL や IP アドレスを入力します。 ※URL 全体の入力文字数に制限あり(1500 文字程度)
Type	ビデオソースの種類を選択します。 各ソースの設定方法は、 9.3.4. Remote を参照してください。 ※RTP は未サポートのためご使用できません。
Detail/Hide	設定の詳細を表示または非表示します。
Time	巡回再生を行う場合、各ソースの再生時間を設定します。
Enable	各ビデオソースの再生を有効にする場合は、チェックを入れます。チェックが外れていると、そのソースは再生されません。 2 つ以上のビデオソースにチェックを入れた場合、巡回再生を行います。

Decode List の最大登録数

1 つの Remote に最大 25 ストリームを登録できます。

Remote#1-4 あるため、 25×4 で最大 100 ストリームの登録が可能となります。

※URL に入力できる文字数の合計には制限があるため、登録数は文字数の合計に影響されます。

文字数の制限は 1600 文字程度となります。

<例> RTSP の URL [rtsp://192.168.10.100/video1]

URL に入力する文字数が 28 文字の場合、ストリームの最大登録数は 57 となります。

(合計文字数:1596)

9.4. Event

SETUP メニュー画面から”Event”タブをクリックします。

Category	Item	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Local	Sensor 1						
	Sensor 2						
	On Video Loss						
	On Motion						
	Audio Detection						
	Intrusion						
	Line Crossing						
Remote	Sensor 1						
	Sensor 2						
	Sensor 3						
	Sensor 4						
On Disconnect	On Disconnect						
User Defined Event	User Defined 1						

➤ Event メニュー(Encoder)

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	イベントの種類(時間変更、異常検知、顔検知)の選択を行います。
Motion Detection	動体検知の設定を行います。
Audio Detection	検知する音声の制限をかけられます。
Sensor	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
Alarm	イベント発生時のアラームまたはビーブ音の長さの設定を行います。
Video Analysis	ラインクロス検知や侵入検知、顔検知(VFD)等の設定を行います。
Event OSD	イベント発生時に表示する OSD の設定を行います。
HTTP Action	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

➤ Event メニュー (Decoder)

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	時間変更時にイベント発生を行うか選択します。
Audio Detection	Decoder では、未サポートのためご使用になれません。
Sensor	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
Alarm	イベント発生時のアラームまたはビープ音の長さの設定を行います。
HTTP Action	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

9.4.1. Notification -Encoder

Video&Audio +	Local									
Image +	Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Network +	Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Event -	On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Notification	On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined Event	Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Motion Detection	Intrusion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Audio Detection	Line Crossing	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Sensor	Tampering	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Alarm	Remote									
Video Analysis	Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Event OSD	Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
HTTP Action	Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Record +	Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Device +	On Disconnect									
PTZ +	On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User +	User Defined Event									
System +	User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
	User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
	User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
	User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼

- Local

Local(エンコーダ側)のイベントに対するアクションを設定します。

Local										
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
Intrusion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
Line Crossing	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	
Tampering	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼	

表示	説明
Sensor 1～2	センサーが起動したときのアクションを設定します。
On Video Loss	ビデオ入力信号が失われたときのアクションを設定します。
On Motion	動体検知機能によって、動きが検出されたときのアクションを設定します。
Audio Detection	音声検知機能によって、音声を検出されたときのアクションを設定します。
Intrusion	侵入検知機能によって、侵入が検出されたときのアクションを設定します。
Line Crossing	ラインクロス検知機能によって、物体の移動が検出されたときのアクションを設定します。
Tampering	改ざん検知機能によって、映像の変化を検出されたときのアクションを設定します。

- Remote

Remote(デコーダ側)のセンサーが起動したときのアクションを設定します。

Remote									
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼

- On Disconnect

エンコーダでは、本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

On Disconnect									
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼

- User Defined Event

User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。

User Defined Event									
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset	No Preset ▼	Event OSD Off ▼	Http Action Off ▼

各アクションについて

表示	説明
Beep	本機からビーブ音が鳴ります。
Alarm	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
E-mail	指定されたアドレスに E メールを送信します。録画ファイルも添付可能です。
FTP	指定した FTP サーバへ録画ファイルをアップロードします。
Preset	プリセット位置にカメラを移動します。
Event OSD	画面上に OSD を表示します。 ※本機能は未サポートのため、ご使用になれない場合があります。
HTTP API	HTTP API を送信します。

9.4.2. Notification -Decoder

Video&Audio +				
Network +				
Event -				
Notification				
User Defined Event				
Audio Detection				
Sensor				
Alarm				
HTTP Action				
Record +				
Device +				
PTZ +				
User +				
System +				

Local				
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

Remote				
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

On Disconnect				
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

User Defined Event				
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

- Local

Local(デコーダ側)のセンサーが起動したときのアクションを設定します。

Local				
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

- Remote

Remote(エンコーダ側)のイベントに対するアクションを設定します。

Remote				
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

表示	説明
Sensor 1～2	センサーが起動したときのアクションを設定します。
On Video Loss	ビデオ入力信号が失われたときのアクションを設定します。

On Motion	動体検知機能によって、動きが検出されたときのアクションを設定します。
Audio Detection	音声検知機能によって、音声を検出されたときのアクションを設定します。

- On Disconnect

ピアシステムとのリンクが切断されたときのアクションを設定します。

※Web ブラウザにて、カメラ映像を確認できる画面から移動した際にも On Disconnect となります。

- User Defined Event

User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。

各アクションについて

表示	説明
Beep	本機からビープ音が鳴ります。
Alarm	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
HTTP API	HTTP API を送信します。

9.4.3. User Defined Event

- User Defined Event

表示	説明
Time Change	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
VFD	9.4.8. Video Analysis で設定した VFD を検知したときにイベントを発生させます。 ※Encoder のみ
AVD	9.4.8. Video Analysis で設定した Abnormal Video (AVD) を検知したときにイベントを発生させます。 ※Encoder のみ
Record Status	録画の異常停止や USB ディスクの切断など、録画ステータスが異常と判断されたときにイベントを発生させます。

9.4.4. Motion Detection


Video&Audio +
Image +
Network +
Event -

- Notification
- User Defined Event
- Motion Detection**
- Audio Detection
- Sensor
- Alarm
- Event OSD
- HTTP Action

Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

Motion Detection

Use Motion Detection ☐ Off ☒ Region-based



Sensitivity(0 for most sensitive)

- ☒ Region 1
- Region 2
- Region 3
- Region 4
- Region 5
- Region 6
- Region 7
- Region 8

Edit ☐ Off

Motion Schedule

Select ☒ Motion Disable ☐ Motion Enable


	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

※Encoder のみ

● Motion Detection

Motion Detection

Use Motion Detection ☐ Off ☒ Region-based



Sensitivity(0 for most sensitive)

- ☒ Region 1
- Region 2
- Region 3
- Region 4
- Region 5
- Region 6
- Region 7
- Region 8

Edit ☐ Off

表示	説明
Use Motion Detection	動体検知機能を使用する場合、Region-based を選択し、下の画面から動体検知を行う領域をマウスドラッグで選択します。
Region 1～8	動体検知を行う領域を最大 8 カ所設定できます。
Sensitivity	各 Region で感度を設定します。[0-10] ※0 が最も感度が高くなります。
Edit	領域を指定する場合は Set、削除する場合は Erase を選択します。

- Motion Schedule

Motion Schedule

Select

☒ Motion Disable
☐ Motion Enable

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Apply

表示	説明
Select	Motion Enable (有効) または Motion Disable (無効) を選択し、クリックやドラッグで動体検知のスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.4.5. Audio Detection

※Encoder のみ(デコーダは未サポート)

● Audio Detection

表示	説明
Mode	Silence Detection または Sound Detection を選択します。
Detection Level	音声検知の閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS] Silence Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が小さい場合にイベントを発生させます。 Sound Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい場合にイベントを発生させます。
Duration	Silence と Sound で、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。 Silence: 閾値より音声信号が小さい時間が Duration 時間を超えたときに、イベント発生させます。 Sound: 閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。

9.4.6. Sensor

Video&Audio +
Image +
Network +
Event -

- Notification
- User Defined Event
- Motion Detection
- Audio Detection
- Sensor**
- Alarm
- Event OSD
- HTTP Action

Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

Sensor Type

Sensor 1 Off ☒ N/O ☐ N/C
Sensor 2 Off ☒ N/O ☐ N/C

Sensor Schedule

Select ☒ Sensor Off ☐ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

● Sensor Type

Sensor Type

Sensor 1 Off ☒ N/O ☐ N/C
Sensor 2 Off ☒ N/O ☐ N/C

表示	説明
Off	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- Sensor Schedule

Sensor Schedule

Select ☒ Sensor Off ☐ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Sensor Off(無効)または Sensor On(有効)を選択します。
Sensor 1~2	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.4.7. Alarm

Video&Audio +

Image +

Network +

Event -

Notification

User Defined Event

Motion Detection

Audio Detection

Sensor

Alarm

Event OSD

HTTP Action

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

Alarm

Beep Duration Synchronous

Alarm1 Duration 1 sec

Alarm2 Duration 1 sec

Apply

● Alarm

Alarm

Beep Duration Synchronous

Alarm1 Duration 1 sec

Alarm2 Duration 1 sec

Apply

表示	説明
Beep Duration	ビープ音が鳴る継続時間を設定します。
Alarm1/2 Duration	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。


Duration について

表示	説明
Synchronous	関連付けたイベントが発生している間、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。
1, 5, 10, 30, 60 sec	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、ビープ音またはアラーム回路を作動し続けます。
Continuous	手動で止めるまで、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。

9.4.8. Video Analysis

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event -
 - Notification
 - User Defined Event
 - Motion Detection
 - Audio Detection
 - Sensor
 - Alarm
 - Video Analysis**
 - Event OSD
 - HTTP Action
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System +

View



Display Object ☐ Off ☐ On

Video Analysis Setup

General
Line Crossing
Intrusion
Tampering
Abnormal Video
VFD

Sensitivity 90

Mode Indoor

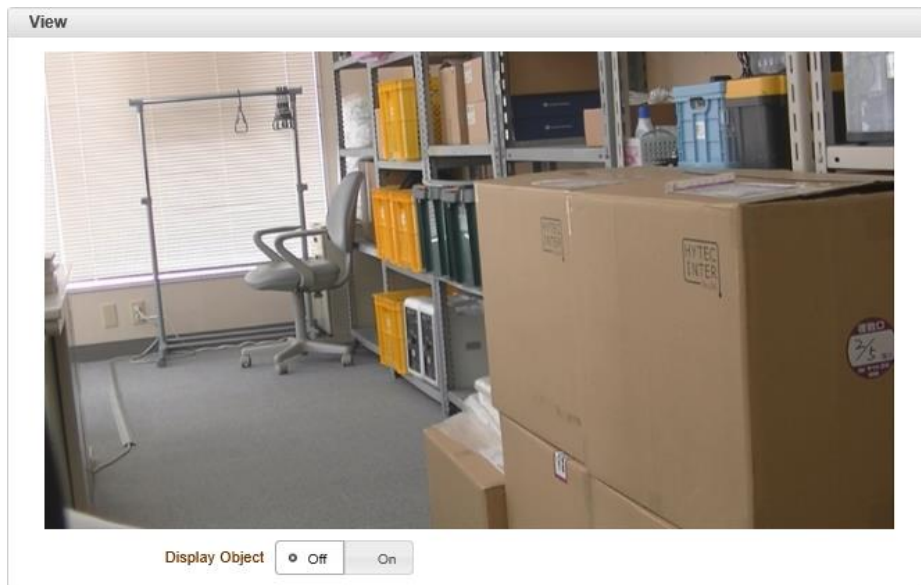
Object Width 10 ~ 70

Object Height 10 ~ 70

Apply

※Encoder のみ

- View



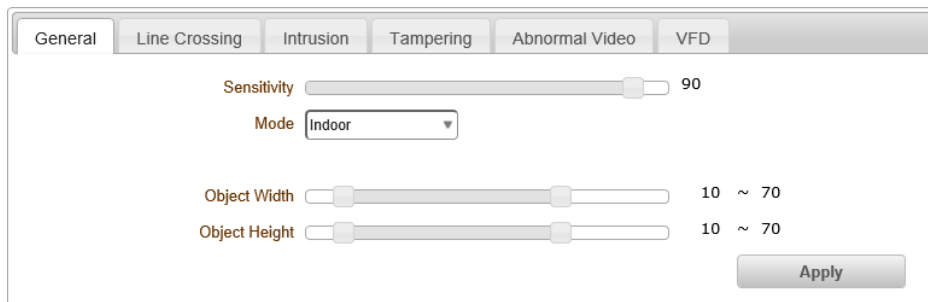
表示	説明
Display Object	On にした場合、動くオブジェクトを黒枠で追尾を行います。(View) Line Crossing や Intrusion が有効で、検知した場合は赤枠に変わります。

- Video Analysis Setup

General

検知する物体の大きさや感度の設定を行います。

Line Crossing と Intrusion は、ここで設定した検知オブジェクトを基準に行います。



表示	説明
Sensitivity	オブジェクトを検知する感度を設定します。 値が大きいほど感度が高くなります。
Mode	屋内モード (Indoor) または屋外モード (Outdoor) を選択します。
Object Width	検知するオブジェクトの幅を設定します。
Object Height	検知するオブジェクトの高さを設定します。

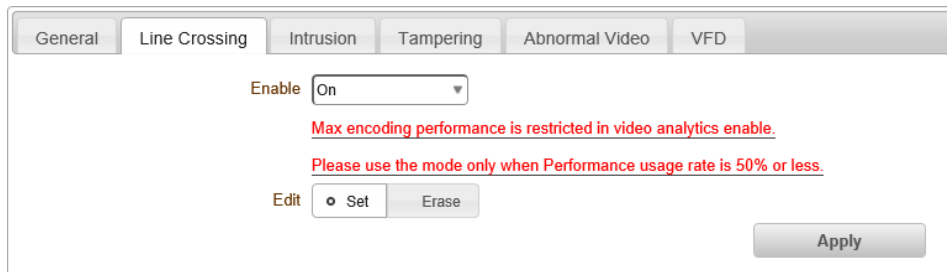
※オブジェクトサイズが 10～70 (初期値) である場合、10 より大きく 70 より小さいオブジェクトが検出されます。

Line Crossing

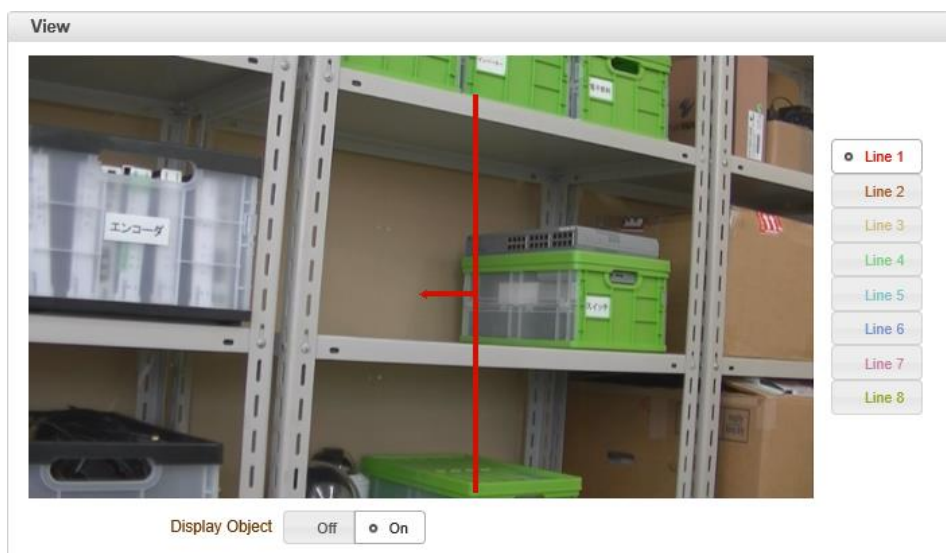
ラインクロス検知の設定を行います。指定したラインを指定方向に通過した場合に検知します。

※Video のパフォーマンス使用率が 50%以下である場合のみご利用下さい。

- ① Enable を On にすることで、ラインクロス検知は有効になります。



- ② Edit で Set、Line1～8 を選択します。View 画面上でマウスをドラッグし、検知ラインを引きます。検知ラインを上から下に引いた場合、右から左に通過したオブジェクトを検知します。View 画面上をクリックすると、現在選択中のラインを削除できます。



- ③ 検知ラインを指定方向に通過すると、検知されます。

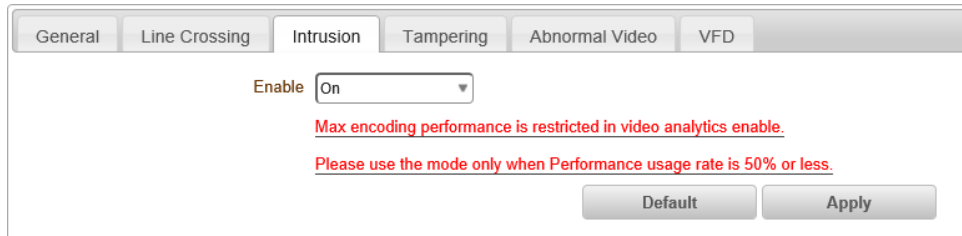


Intrusion

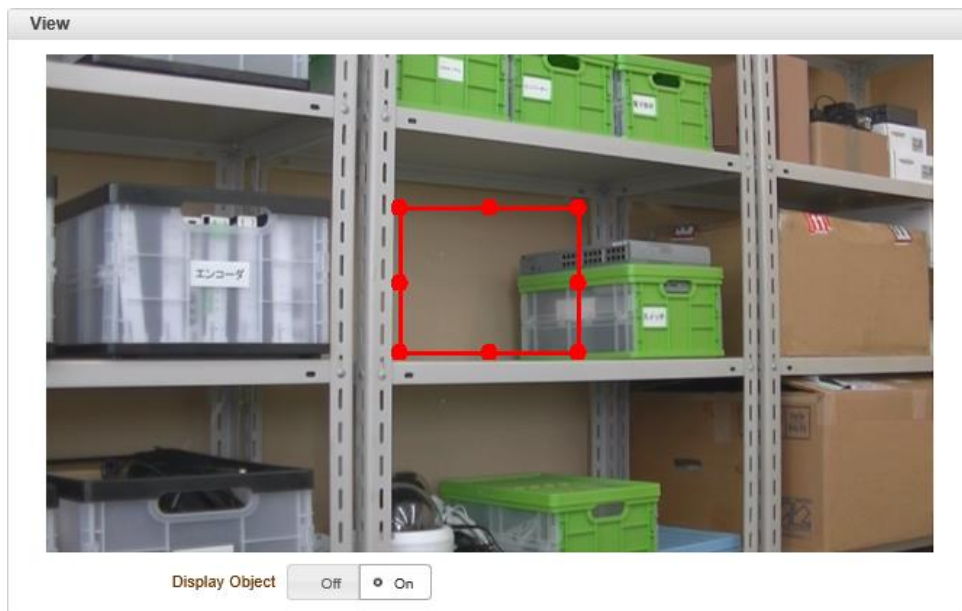
侵入検知の設定を行います。指定範囲に入るオブジェクトを検知します。

※Video のパフォーマンス使用率が 50%以下である場合のみご利用下さい。

- ① Enable を On にすることで、侵入検知は有効になります。



- ② View 画面上で 8 つの赤い点をドラッグ & ドロップで移動させ、検知エリアを設定します。



- ③ Apply で設定が保存され、Default で検知エリアは最初の形に戻ります。

- ④ 検知エリアにオブジェクトが侵入すると、検知されます。



Tampering

改ざん検知の設定を行います。

カメラが動いたり、隠されたりなどカメラの映像が大きく変わったときに検知します。

Abnormal Video

ビデオの異常な変化を検知します。

各設定で On にして感度を 1～5 に設定します。値が大きいほど感度が高くなります。

イベントを発生させる場合、User Defined Event で AVD を選択し、通知方法は Notification から設定してください。

表示	説明
Scene Change Enable	シーンに急激な変化があった場合に検知します。
Abnormal Low Bright Enable	シーンが暗すぎる場合に検知します。
Abnormal High Bright Enable	シーンが明るすぎる場合に検知します。
Clarity Enable	シーンがぼやけた場合（ピンぼけやレンズのくもりなど）検知します。
Abnormal Color Enable	シーンに異常な色が発生した場合に検知します。
Interface Enable	デジタルノイズが発生した場合に検知します。

VFD

VFD (Video Face Detection) 顔検出の設定を行います。

表示	説明
Detection Level	検出レベルの設定を行います。値が小さいほど検出速度は速いです。値が増加すると検出精度は高くなるが、検出速度は遅くなります。
Detection Accuracy	検出精度の設定を行います。値が大きいほど検出精度は高くなります。
Rotation Level	顔検出できる角度(0:0 度/1:45 度/2:90 度)を設定します。

9.4.9. Event OSD

Video&Audio	+
Image	+
Network	+
Event	-
Notification	
User Defined Event	
Motion Detection	
Audio Detection	
Sensor	
Alarm	
Event OSD	
HTTP Action	
Record	+
Device	+
PTZ	+
User	+
System	+

Event OSD

No.	Display Event Type	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color
1.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White
2.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White
3.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White
4.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White

OSD Display Time

OSD Display Time

For events where the end time is not defined - User Defined Event

Apply

※Encoder のみ

● Event OSD

Event OSD						
No.	Display Event Type	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color
1.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White
2.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White
3.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White
4.	<input type="checkbox"/>		0	0	30	White

表示	説明
Display Event Type	String で設定した文字列の前に、イベントタイプを挿入する場合はチェックを入れます。
String	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。[0-1000]
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。[0-1000]
Font Size	フォントサイズを設定します。[12-84]
Color	フォントの色を設定します。

9.4.10. HTTP Action

Video&Audio +	<div>HTTP Action</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>String</th> <th>Auth Type</th> <th>ID</th> <th>PW</th> <th>Enable</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td><input type="text"/></td> <td>None ▼</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td><input type="text"/></td> <td>None ▼</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td><input type="text"/></td> <td>None ▼</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td><input type="text"/></td> <td>None ▼</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table> <div>Apply</div>	No.	String	Auth Type	ID	PW	Enable	1.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	2.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	3.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	4.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
No.		String	Auth Type	ID	PW	Enable																									
1.		<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>																									
2.		<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>																									
3.		<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>																									
4.		<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>																									
Image +																															
Network +																															
Event -																															
Notification																															
User Defined Event																															
Motion Detection																															
Audio Detection																															
Sensor																															
Alarm																															
Video Analysis																															
Event OSD																															
HTTP Action																															
Record +																															
Device +																															
PTZ +																															
User +																															
System +																															

- HTTP Action

HTTP Action					
No.	String	Auth Type	ID	PW	Enable
1.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
2.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
3.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
4.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

表示	説明
String	HTTP API の命令を入力します。 入力文字列については、下記の「HTTP API の入力例」をご参照ください。
Auth Type	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。 Auth Type の選択方法は、「Auth Type の設定基準」をご参照ください。
ID	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
PW	ログイン時に使用するパスワードを入力します。
Enable	入力した命令の有効/無効を設定します。

➤ HTTP API の入力例

《例 1》再起動

http://<server>/httpapi/WriteParam?action=writeparam&SYS_REBOOT=0

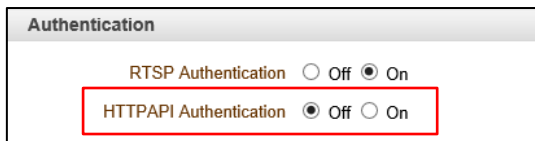
《例 2》プリセット 1 へ移動

http://<server>/httpapi/SendPTZ?action=sendptz&PTZ_CHANNEL=1&PTZ_PRESETGOTO=1

➤ Auth Type の設定基準

HTTPAPI Authentication: Off の場合

HTTP API 認証が無効のため、Auth Type は “None” を選択します。



Authentication

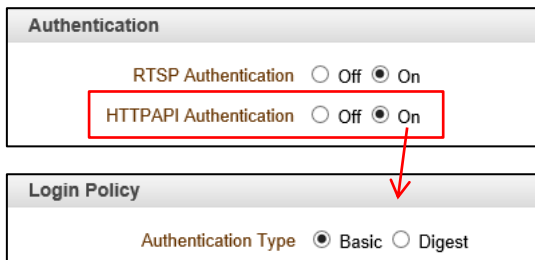
RTSP Authentication ☐ Off ☒ On

HTTPAPI Authentication ☒ Off ☐ On

HTTPAPI Authentication: On の場合

HTTP API 認証が有効のため、Login Policy の Authentication Type に従う必要があります。

- Authentication Type: Basic の場合は、Auth Type も “Basic” を選択
- Authentication Type: Digest の場合は、Auth Type も “Digest” を選択



Authentication

RTSP Authentication ☐ Off ☒ On

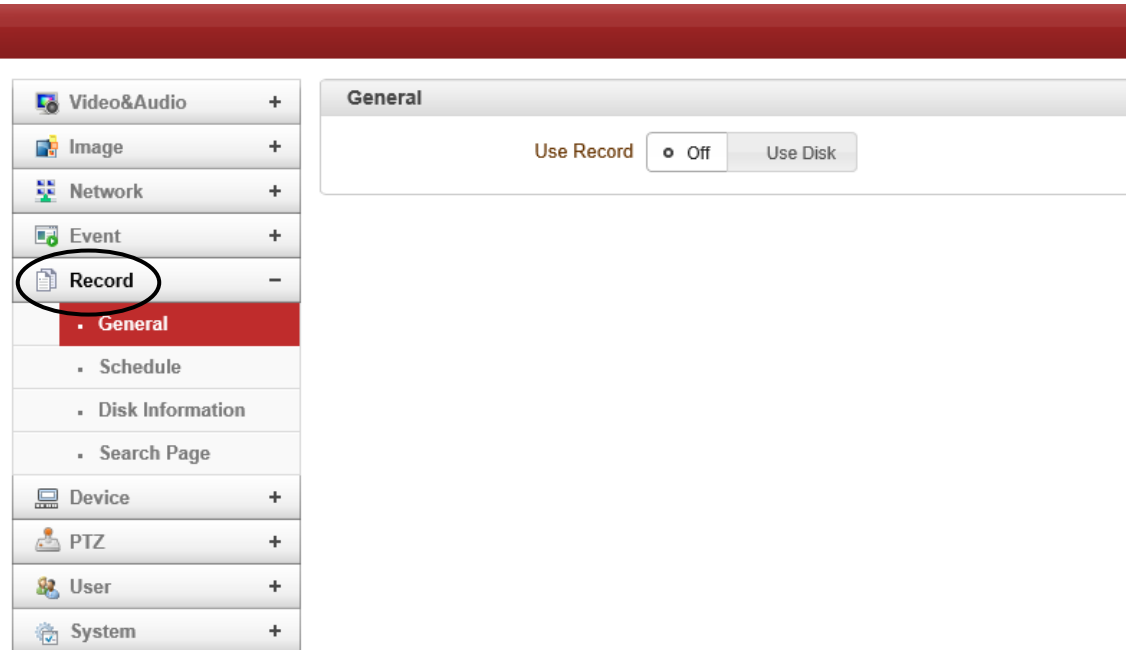
HTTPAPI Authentication ☐ Off ☒ On

Login Policy

Authentication Type ☒ Basic ☐ Digest

9.5. Record

SETUP メニュー画面から”Record”タブをクリックします。



➤ Record メニュー (Encoder/Decoder)

表示	説明
General	録画の設定を行います。
Schedule	録画のスケジュール設定を行います。
Disk Information	録画情報や容量が確認できます。
Search Page	録画されたデータを探すことができます。

9.5.1. General

The screenshot shows the 'General' settings page. On the left, a sidebar menu lists various system settings: Video&Audio, Image, Network, Event, Record (expanded), General (selected), Schedule, Disk Information, Search Page, Device, PTZ, User, and System. The main content area is titled 'General' and contains the 'Use Record' setting, which is currently set to 'Off'. There is a radio button for 'Use Disk' which is not selected. An 'Apply' button is located at the bottom right of the settings area.

- General

This screenshot provides a detailed view of the 'General' settings. The 'Use Record' section has radio buttons for 'Off' and 'Use Disk'. 'Select Video' is a dropdown menu currently showing 'Primary Video'. 'Manual Record' is a dropdown menu showing 'Button'. 'Overwrite' has radio buttons for 'Off' and 'On'. 'Max File Size' is a dropdown menu showing '500M bytes'. 'Max File Length' is a dropdown menu showing '1 Hour'. 'Record File Format' is a dropdown menu showing 'MP4'. Below these settings, a red warning message states: 'MJPEG is not supported in MP4 file recording. Some browsers(Chrome, FF) don't support Playback of MP4 file with H.265 video.' At the bottom, 'Automatically Backup to FTP' has radio buttons for 'Off' and 'On'.

表示	説明
Use Record	Off: 録画機能が OFF になります。 Use Disk: 録画機能が ON になります。設定後に再起動します。
Select Video	録画するビデオストリームを選択します。 ※Encoder のみ
Manual Record	Off: スケジュール通りに録画します。 On: スケジュール関係なく常に録画されます。 Button: 機器前面「USER KEY」より、録画の開始/終了を行います。
Overwrite	ディスクが容量不足になると、最も古いデータから削除されます。
Max File Size	録画ファイルのサイズを制限するため、最大ファイルサイズを選択します。
Max File Length	録画ファイルの時間の長さを制限するため、録画の最大時間を選択します。

Record File format	録画ファイル形式を MP4※1または AVI から選択します。
Automatically Backup to FTP	On を選択した場合、自動的に FTP サーバへバックアップします。 ※Encoder のみ
Erase after Backup	FTP サーバへバックアップした後、データが消えます。 ※Encoder のみ
Start Time of Backup Date	バックアップを開始する日付や時間帯を設定します。 ※Encoder のみ

※1 MP4 の注意事項

MP4 で録画する場合は、H.264 を推奨します。

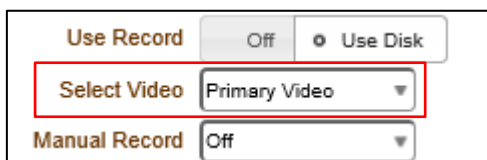
H.265 での録画は可能ですが、ブラウザ上での録画再生が未サポートとなります。

MJPEG での録画は未サポートとなります。(AVI での録画可能)

エンコーダで録画機能を使用する場合

エンコードする映像を録画します。

Select Video で、Primary/Secondary#1-3 の 4 ストリームから 1 つを選択し、録画を行います。

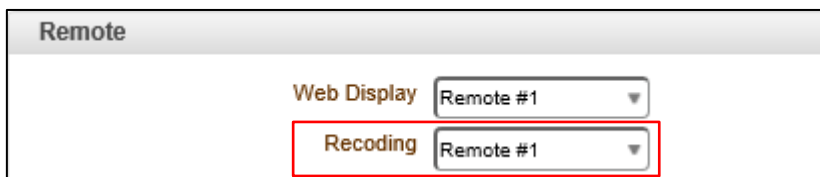


※解像度やフレームレート、画質等は、エンコーダの Video&Audio>Video で設定して下さい。

デコーダで録画機能を使用する場合

デコーダで受信した映像を録画します。

デコーダの Network>Remote にて、最大 4 ストリームのデコード設定を行います。「Recoding」でその中から 1 つを選択し録画を行います。



※解像度やフレームレート、画質等は、HDMI 出力と同じ条件で録画を行います。

録画のステータスを確認(エンコーダ)

LIVE 画面で、録画ステータスを確認できます。赤は録画 ON、消灯は録画 OFF を表します。



9.5.2. Schedule

Video&Audio +
Image +
Network +
Event +
Record -
General
Schedule
Disk Information
Search Page
Device +
PTZ +
User +
System +

Event Type

Event Type 1	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 2	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 3	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 4	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4

Pre-event Time

Post-event Time

Schedule Table

Select ☒ Record Off ☐ Continuous ☐ Disconnect

	Event Type 1	Event Type 2	Event Type 3	Event Type 4
--	--------------	--------------	--------------	--------------

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

● Event Type

Event Type

Event Type 1	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 2	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 3	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4
Event Type 4	Sensor1	Sensor2	Motion	Video Loss	Audio Detection	UserDefined 1	UserDefined 2	UserDefined 3	UserDefined 4

Pre-event Time

Post-event Time

表示	説明
Event Type 1～4	録画を開始するトリガを設定します。4 つまでイベントタイプが設定でき、それぞれセンサー、ビデオロス、音声検知、時間変更通知などの組み合わせで行うことができます。
Pre-event Time	イベント発生の何秒前から録画を開始するのか設定します。
Post-event Time	イベント収束の何秒後まで録画をするのか設定します。

- Schedule Table

Schedule Table

Select

☒ Record Off

Continuous

Disconnect

Event Type 1

Event Type 2

Event Type 3

Event Type 4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

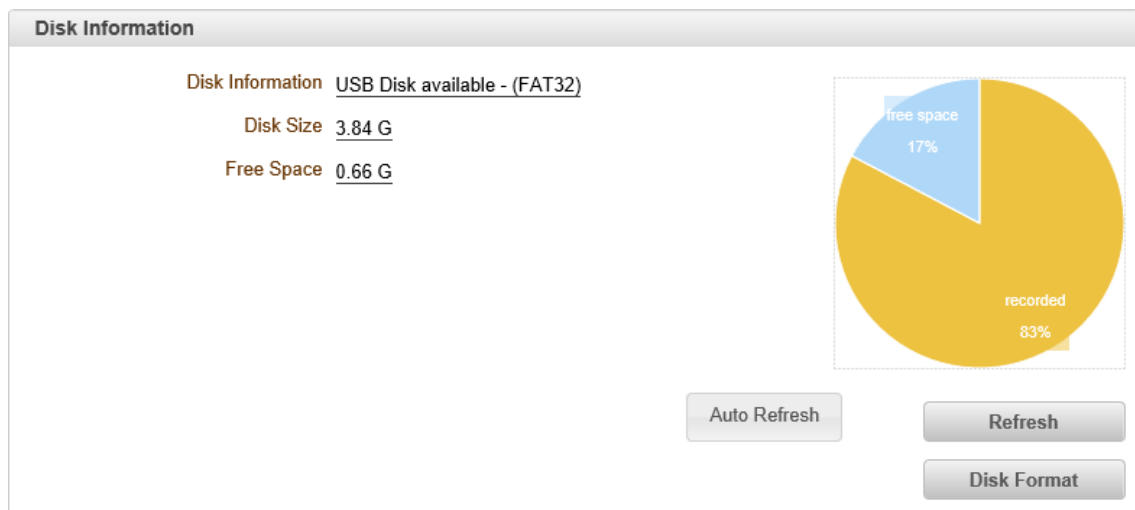
表示	説明
Select	Record Off、Continuous、Disconnect、Event Type から選択します。 Record Off: 録画を行いません。 Continuous: 常に録画を行います。 Disconnect: システムが最後のクライアント(デコーダ、VMS/NVR)などとの接続を失ったときに録画が開始されます。 Event Type: 上のイベントタイプ設定で構成されたイベントをスケジュールで録画を行います。

※デコーダでは、Record Off と Continuous のみスケジュール録画可能。

9.5.3. Disk Information



- Disk Information



表示	説明
Disk Information	ディスクのステータスを表示します。 詳細は下記の <u>Disk Information</u> を参照してください。
Disk Size	ディスクの容量を表示します。
Free Space	ディスクの空き容量を表示します。
Auto Refresh	1 分間隔で自動的に更新します。
Refresh	クリックすると更新します。
Disk Format	ディスクをフォーマットして、本機を再起動します。

Disk Information

ディスクステータス	説明
Disk error detected	エラーを検出しました。

Not disk	システムにディスクが接続されていません。
Searching Disk Information	ディスクのステータスを確認しています。ページを更新またはステータスが変更されるまで待機してください。
Mounting and Recovering Disk	ディスクの損傷が見つかったときに、リカバリプロセスを実行します。回復には数秒から数分かかります。
Disk format needed	ディスクは接続されていますが、ファイルシステムの種類が不明、または破損している可能性があります。
Unknown disk type detected	
USB Disk available	USB ディスクは使用可能です。
Disk removed or in abnormal state	動作中にディスクがデータ化されるか、ファイルシステムに損傷があります。ディスクをフォーマットすることを推奨します。

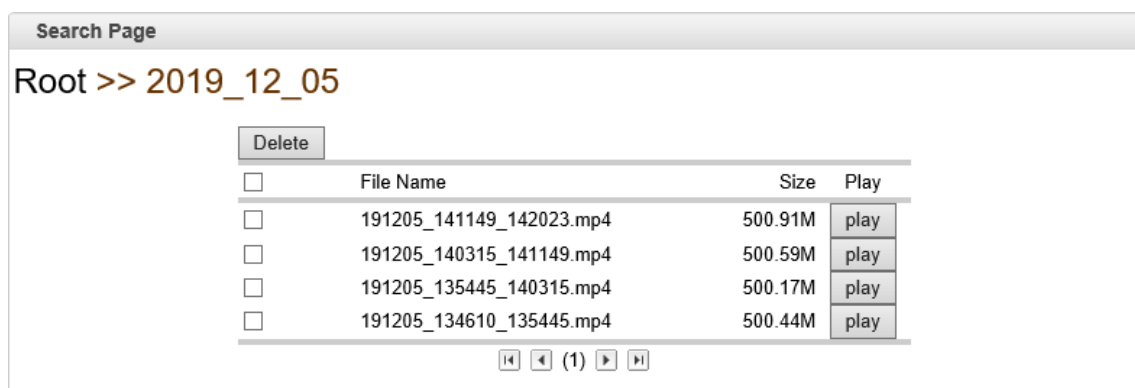
USB ディスクについて

- ・ USB メモリースティックまたはUSB HDD (外部電源付き) を使用でき、1GB 以上を推奨します。
- ・ ファイルシステムは「FAT32」のみサポートしています。
- ・ 録画と監視を同時に行う場合は、4Mbps 以下のビットレートを推奨します。パフォーマンスの制限によりフレームの欠落が発生する可能性があります。
- ・ USB ディスクを正常に読み取れなかった場合は、Disk Format を行ってください。システムは再起動を行い、起動時にディスクのステータスを読み取り初期化します。

9.5.4. Search Page



表示	説明
Search Page	録画した日付を表示します。 日付をクリックすると、下のように表示されます。 ※File Name をクリックすると、録画した動画を見ることができます。



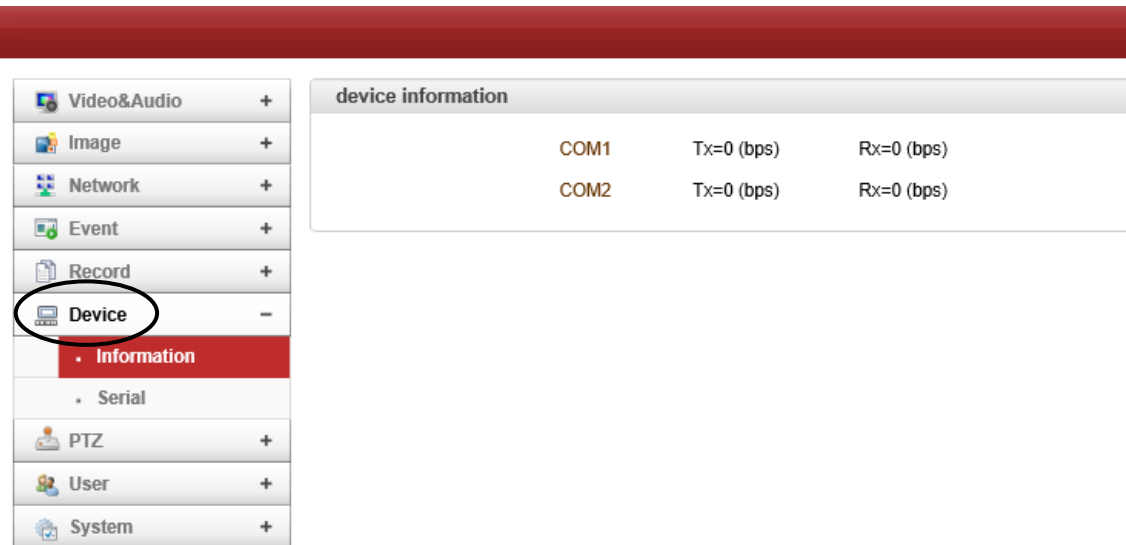
表示	説明
File Name	録画時間がファイル名となります。 ファイル名をクリックすると、録画ファイルを保存できます。
Size	録画ファイルの容量を表示します。
Play	<input type="button" value="play"/> をクリックして録画ファイルを再生します。(MP4 のみ)※1
Delete	削除したいファイルにチェックを入れ <input type="button" value="Delete"/> をクリックすると、録画ファイルが削除されます。

※1 録画ファイルの再生は、VLC media player を推奨します。他のプレイヤーでは、音声再生されない場合があります。

また、H.265 の MP4 録画ファイルは再生できないのでご注意ください。

9.6. Device

SETUP メニュー画面から”Device”タブをクリックします。



➤ Device メニュー (Encoder/Decoder)

表示	説明
Information	シリアル通信の状態を表示します。
Serial	シリアルポートの設定を行います。

9.6.1. Information

Video&Audio +	<div>device information</div> <table> <tr> <td>COM1</td> <td>Tx=0 (bps)</td> <td>Rx=0 (bps)</td> </tr> <tr> <td>COM2</td> <td>Tx=0 (bps)</td> <td>Rx=0 (bps)</td> </tr> </table>	COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)
COM1		Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)				
COM2		Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)				
Image +							
Network +							
Event +							
Record +							
Device -							
Information							
Serial							
PTZ +							
User +							
System +							

- Device information

表示	説明
COM1 / COM2	現在のシリアル通信の状態を表示します。

9.6.2. Serial

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device -
- Information
- Serial**
- PTZ +
- User +
- System +

COM1 (RS-232 Port)

Protocol RS-232

Bitrate 9600 bps

Data Bit 8 Bits

Parity None

Stop Bit 1 Bits

Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol RS-485

Bitrate 2400 bps

Data Bit 8 Bits

Parity None

Stop Bit 1 Bits

Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

485 Terminating Resistors Off

- COM1 (RS-232 Port)

COM1 (RS-232 Port)

Protocol RS-232

Bitrate 9600 bps

Data Bit 8 Bits

Parity None

Stop Bit 1 Bits

Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

表示	説明
Protocol	RS-232 で固定されます。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。

- COM-2 (RS-422/485 Port)

COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol RS-485 ▼

Bitrate 2400 ▼ bps

Data Bit 8 ▼ Bits

Parity None ▼

Stop Bit 1 ▼ Bits

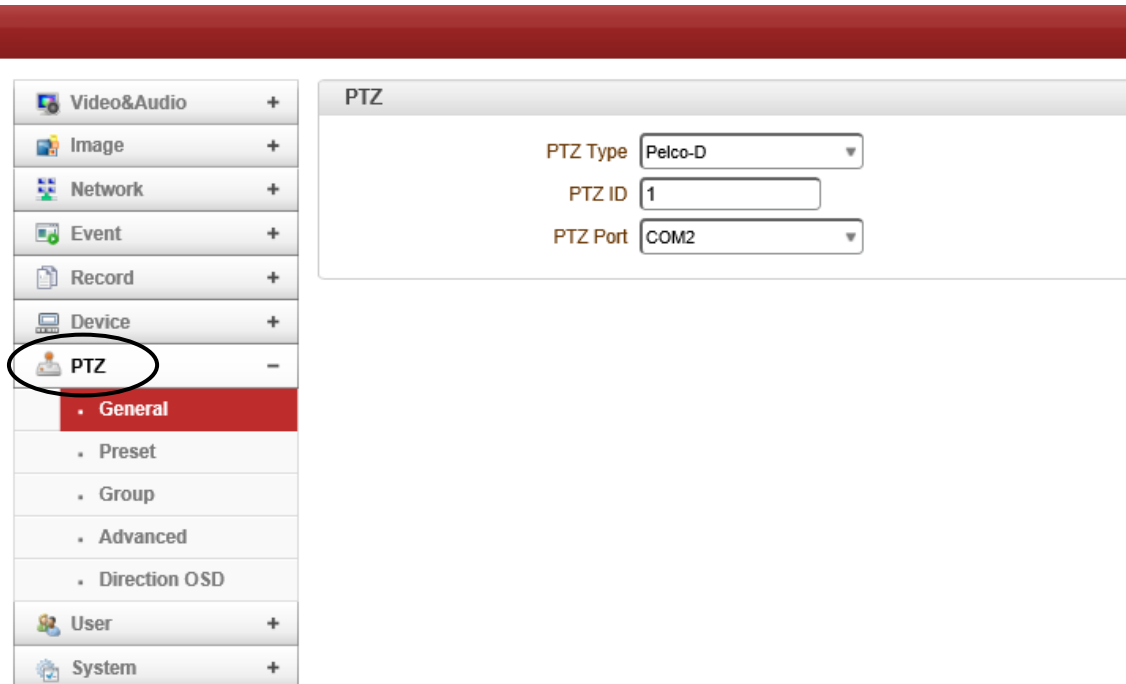
Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

485 Terminating Resistors Off ▼

表示	説明
Protocol	RS-422 または RS-485 を選択します。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。
485 Terminating Resistors	終端抵抗の有効/無効を選択します。

9.7. PTZ

SETUP メニュー画面から”PTZ”タブをクリックします。



➤ PTZ メニュー(Encoder)

表示	説明
General	PTZ カメラの設定を行います。
Preset	Preset の設定を行います。
Group	グループ設定。全 8 グループで 1 グループ 20 組まで設定できます。
Advanced	再起動した際のカメラの位置、オートパーキング機能の設定を行います。
Direction OSD	360 度パノラマ撮影、OSD 設定を行います。

➤ PTZ メニュー(Decoder)

表示	説明
Preset	Preset の設定を行います。

9.7.1. General

PTZ

PTZ Type: Pelco-D

PTZ ID: 1

PTZ Port: COM2

Apply

● PTZ

PTZ

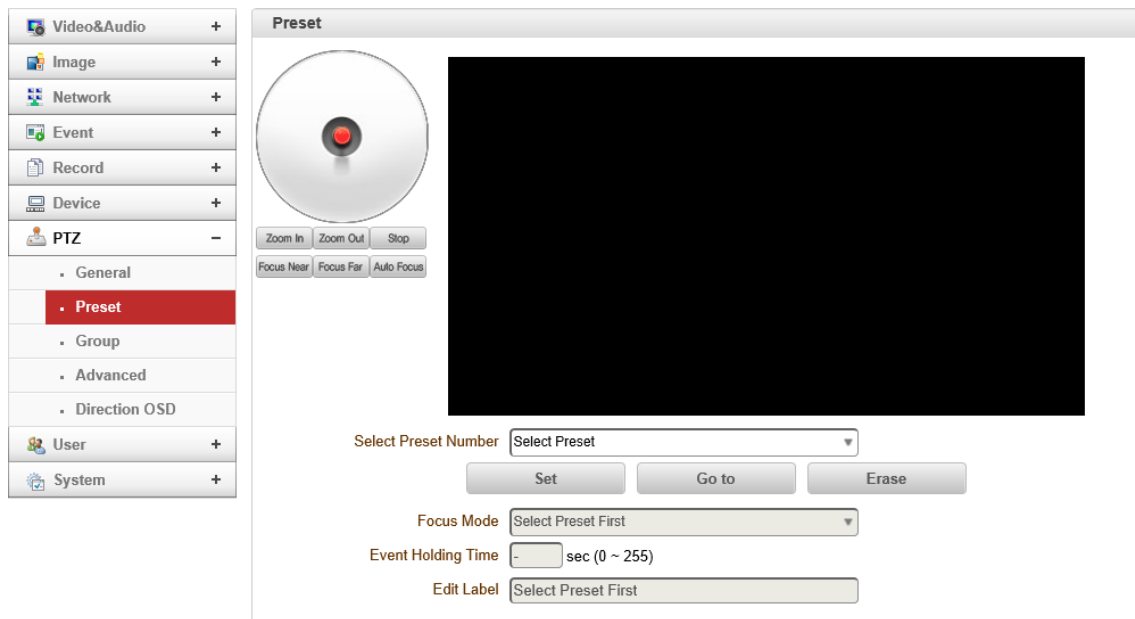
PTZ Type: Pelco-D

PTZ ID: 1


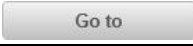
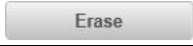
PTZ Port: COM2

表示	説明
PTZ Type	PTZ カメラや受信機の種類を選択します。
PTZ ID	制御用のカメラや受信機の PTZ ID を入力します。[0-255]
PTZ Port	制御用 PTZ カメラと接続するシリアルポートを選択します。

9.7.2. Preset



- Preset

表示	説明
Select Preset Number	プリセット番号を選択します。(Preset-1～Preset-500)
	選択したプリセット番号に現在位置を設定します。
	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットの位置へ移動します。
	選択したプリセットを削除します。
Focus Mode	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Event Holding Time	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Edit Label	プリセットにラベルを割り当てます。

9.7.3. Group

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ -
- General
- Preset
- Group
- Advanced
- Direction OSD
- User +
- System +

#1
#2
#3
#4
#5
#6
#7
#8

No.	Action	Dwell Time(0~255)	Option(1~255)	Enable
1	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
2	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
3	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
4	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
5	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
6	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
7	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
8	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
9	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
10	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
11	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
12	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
13	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
14	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
15	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
16	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
17	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
18	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
19	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
20	No Preset ▼	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>

※Encoder のみ

● Group

表示	説明
Action	グループに追加するプリセットを選択します。
Dwell time	各プリセットの滞留時間の設定を行います。
Option	映像の切り替わる速さを設定します。
Enable	有効にする場合はチェックを入れます。

9.7.4. Advanced

Video&Audio +
Image +
Network +
Event +
Record +
Device +
PTZ -
 General
 Preset
 Group
 Advanced
 Direction OSD
User +
System +

Advanced

Power Up Action ☒ Off ☐ Group-1 ☐ Preset-1

Auto Parking

Parking Time sec (0~3600, 0:0ff)
Parking Action #1
Parking Action #2
Parking Action #3
Parking Action #4

Schedule of Auto Parking

☒ Parking Action #1
☐ Parking Action #2
☐ Parking Action #3
☐ Parking Action #4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Apply

※Encoder のみ

● Advanced

Advanced

Power Up Action ☐ Off ☒ Group-1 ☐ Preset-1 ☐ Preset-2 ☐ Preset-3
Motion Detection and Tampering disable on PTZ ☐ Off ☒ On

表示	説明
Power Up Action	再起動後のカメラの位置を設定します。 ※本機能は未サポートのため、ご使用になれない場合があります。
Motion Detection and Tampering disable on PTZ	On を選択すると、PTZ による動体検知と改ざんを無効にできます。

- Auto Parking

Auto Parking

Parking Time
sec (0~3600, 0:0ff)

Parking Action #1

Parking Action #2

Parking Action #3

Parking Action #4

Schedule of Auto Parking

Parking Action #1

Parking Action #2

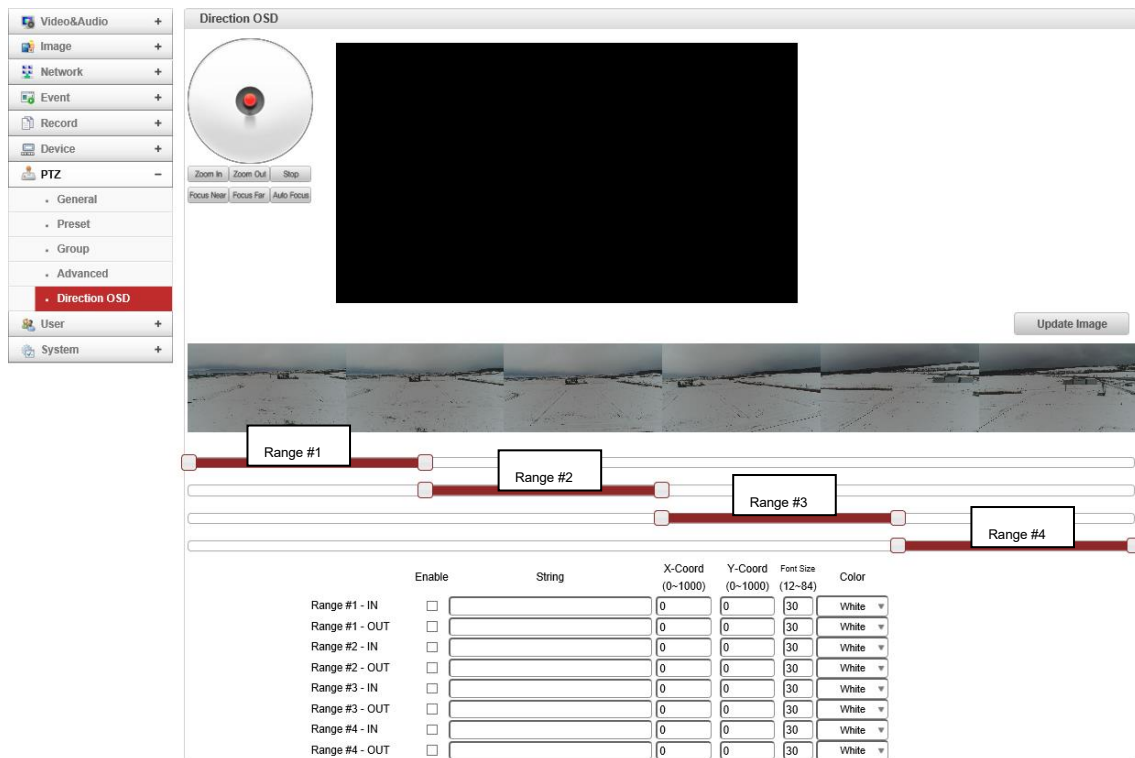
Parking Action #3

Parking Action #4

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Parking Time	カメラの位置を移動させた後、何秒で Parking Action の位置に戻ってくるのか設定します。 0 の場合は、オートパーキング機能がオフになっています。
Parking Action #1-4	Parking Time で設定した時間が経過すると、ここで指定した Preset にカメラ位置を戻すことができます。
Schedule of Auto Parking	Parking Action で設定したプリセットのスケジュールを設定します。

9.7.5. Direction OSD



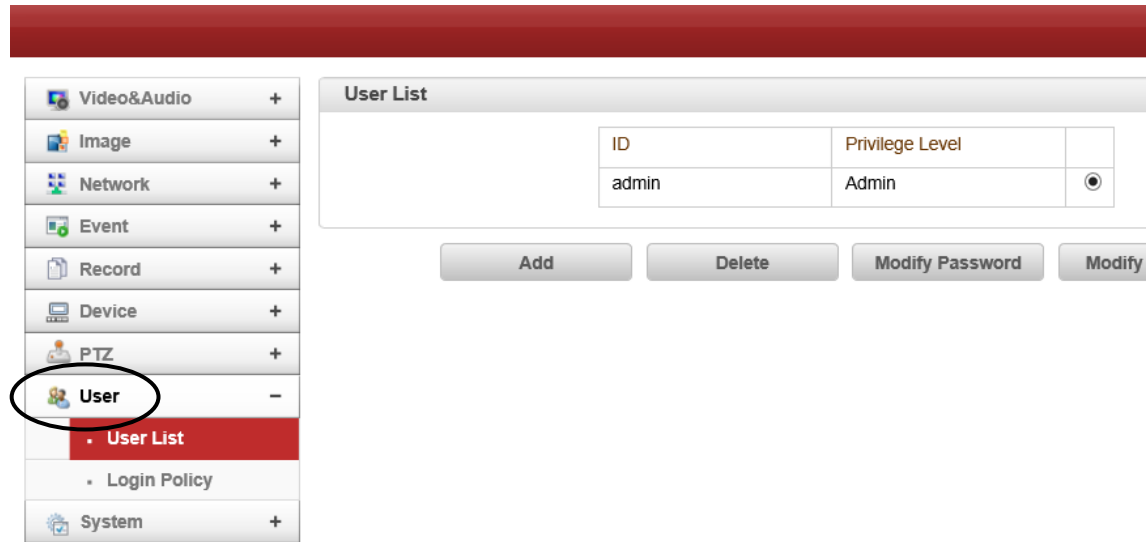
※Encoder のみ

● Direction OSD

表示	説明
Enable	OSD を有効にする場合はチェックを入れます。
String	<p>画面上に表示したい任意の文字列を入力します。</p> <p><u>Range #1 - IN</u> Range #1 の範囲内にカメラが向いている場合のみ、設定した文字列を表示させることができます。</p> <p><u>Range #1 - OUT</u> Range #1 の範囲以外にカメラが向いている場合に、設定した文字列を表示させることができます。</p>
X-Coord	X 座標 (横の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標 (縦の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Font Size	フォントサイズを設定します。(12~84)
Color	フォントの色を設定します。
Update Image	PTZ カメラで 360 度パノラマ撮影をします。

9.8. User

SETUP メニュー画面から”User”タブをクリックします。



➤ User メニュー(Encoder/Decoder)

表示	説明
User List	ユーザの登録・削除・変更を行います。最大 16 ユーザ登録可能。
Login Policy	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※User 設定は、admin ユーザのみ設定できます。

9.8.1. User List

ID	Privilege Level
admin	Admin

Buttons: Add, Delete, Modify Password, Modify Privilege

- User List

ID	Privilege Level
admin	Admin

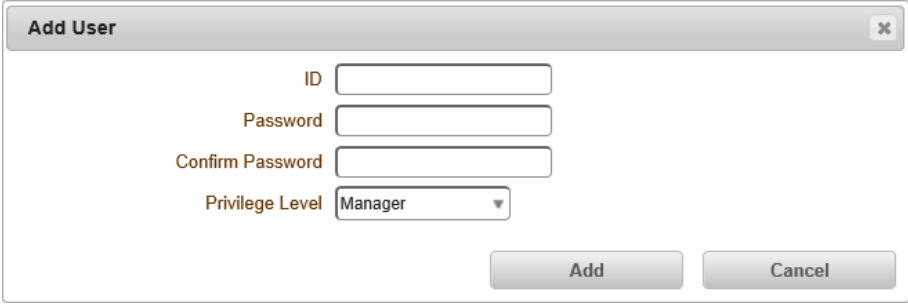
表示	説明
ID	ユーザの ID を表示します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを表示します。

ユーザ権限レベル

権限	操作可能範囲
Admin	すべての操作
Manager	User 設定を除くすべての操作
User	Live 表示と PTZ 制御
Guest	Live 表示のみ

- Add（新規登録）

Add ボタンをクリックします。



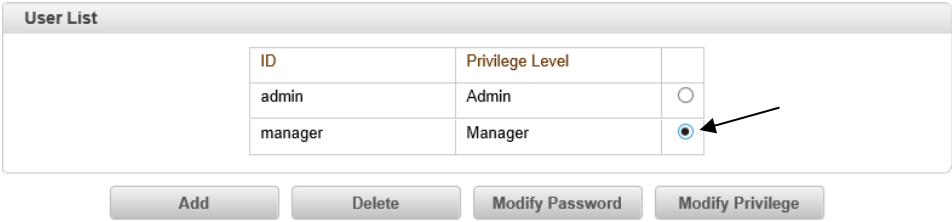
The 'Add User' dialog box contains the following fields and controls:

- ID**: Text input field.
- Password**: Text input field.
- Confirm Password**: Text input field.
- Privilege Level**: Dropdown menu with 'Manager' selected.
- Add**: Button.
- Cancel**: Button.

表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1～15 文字 ※英数字のみ
Password	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※2～15 文字 ※英数記号（“=”、“<”、“>”、“?”は使用不可）
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを選択します。

- Delete（ユーザ削除）

削除するユーザの右に黒丸を移動し Delete ボタンをクリックします。



The 'User List' dialog box displays a table of users and includes action buttons below it.

ID	Privilege Level	
admin	Admin	<input type="radio"/>
manager	Manager	<input checked="" type="radio"/>

Below the table are four buttons: **Add**, **Delete**, **Modify Password**, and **Modify Privilege**. An arrow points to the selected radio button for the 'manager' user.

- Modify Password（パスワードの変更）

パスワード変更をするユーザの右に黒丸を移動し、Modify Password ボタンをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "Modify Password". It has a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are four input fields with labels to their left: "ID" (containing "admin"), "Current Password", "New Password", and "Confirm Password". At the bottom of the dialog, there are two buttons: "Modify" and "Cancel".

表示	説明
ID	パスワードを変更するユーザを表示します。
Current Password	現在のパスワードを入力します。(admin のみ入力)
New Password	新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。

- Modify Privilege（権限レベルの変更）

権限レベルを変更するユーザの右に黒丸を移動し Modify Privilege ボタンをクリックします。

(admin の権限は変更不可)

The screenshot shows a dialog box titled "Modify Privilege Level". It has a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are two input fields with labels to their left: "ID" (containing "manager") and "Privilege Level" (a dropdown menu showing "Manager"). At the bottom of the dialog, there are two buttons: "Modify" and "Cancel".

表示	説明
ID	権限を変更するユーザを表示します。
Privilege Level	権限レベルを選択します。

9.8.2. Login Policy

- Login Policy

表示	説明
Authentication Type	HTTP 認証方式の基本認証 (Basic) またはダイジェストアクセス認証 (Digest) から選択します。

- Authentication

表示	説明
RTSP Authentication	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を行う際に、パスワード認証を要求します。
HTTPAPI Authentication	On に設定すると、HTTPAPI にて操作する際に、パスワード認証を要求します。

- Login Failure Process

Login Failure Process	
Number of Login failures Allowed	<input type="text" value="No limit"/> <input type="button" value="Apply"/>

表示	説明
Number of Login failures Allowed	<p>ログイン失敗の回数を無制限 (No limit), 1, 3, 5, 10 回から選択します。</p> <p>無制限は何回失敗してもブロックされません。</p> <p>ログイン失敗の回数を設定した場合は、ブロックされ一定の時間ログインできなくなります。</p>
E-mail Notification	<p>ログイン失敗回数に達した場合、メール通知を行います。</p>
User ID Blocking	<p>ログイン失敗回数に達した場合、ブロックする時間を設定します。</p> <p>30 秒, 60 秒, 5 分から選択し、経過すると再度ログインできます。</p>

9.9. System

SETUP メニュー画面から”System”タブをクリックします。

The screenshot shows the 'System' menu selected in the left sidebar. The main area displays 'System Information' with the following details:

System Information	
Model	TCS-8500 (B000)
Version	V11.205B06_T100
ONVIF Version	21.12
OpenSSL Version	OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021
MAC Address	00:1C:63:BF:00:C3
Current IP	172.16.2.8
Current Domain	Not RegisteredB
RCV Version	14151D0

The left sidebar menu includes: Video&Audio, Image, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, System (selected), Information, Upgrade&Reboot, Time, OSD, Language, System Mode, and Log.

➤ System メニュー (Encoder/Decoder)

表示	説明
Information	現在のエンコーダ情報を確認できます。
Upgrade & Reboot	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
Time	現在の日時の設定ができます。
OSD	システム名や日時の画面表示設定ができます。
Language	表示される言語の設定ができます。
System Mode	エンコーダまたはデコーダのモードを切り替えます。
Log	ログの表示と保存を行います。

9.9.1. Information

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System -
- Information
- Upgrade&Reboot
- Time
- OSD
- Language
- System Mode
- Log

System Information

Model TCS-8500 (B000)

Version V11.205B06_T100

ONVIF Version 21.12

OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021

MAC Address 00:1C:63:BF:00:C3

Current IP 172.16.2.8

Current Domain Not RegisteredB

RCV Version 14151D0

- System Information

System Information

Model TCS-8500 (B000)

Version V11.205B06_T100

ONVIF Version 21.12

OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021

MAC Address 00:1C:63:BF:00:C3

Current IP 172.16.2.8

Current Domain Not RegisteredB

RCV Version 14151D0

表示	説明
Model	モデル名を表示します。
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ONVIF Version	現在の ONVIF のバージョンを表示します。 ※Encoder のみ
OpenSSL Version	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
Current IP	現在の IP アドレスを表示します。
Current Domain	現在のドメイン名を表示します。
RCV Version	HDMI レシーバチップバージョンを表示します。 ※Encoder のみ

9.9.2. Upgrade & Reboot

<ul style="list-style-type: none"> Video&Audio + Image + Network + Event + Record + Device + PTZ + User + System - <ul style="list-style-type: none"> Information Upgrade&Reboot Time OSD Language System Mode Log 	Firmware Version <u>V11.205B06_T100</u> Upgrade <input type="text"/> 参照... Firmware Upgrade
	Config Backup&Restore Backup Config Backup Restore <input type="text"/> 参照... Config Restore
	Reboot Reboot
	Factory Reset Exclusions Item Network Preset User List Factory Reset
	SSL Certificates Upload Crt File <input type="text"/> 参照... Key File <input type="text"/> 参照... Upload Default certificate is being used.

● Firmware

Firmware	
Version	<u>V11.011B01_T100</u>
Upgrade	<input type="text"/> 参照... Firmware Upgrade

表示	説明
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Upgrade	参照ボタンをクリックし、PC からファームウェアファイルを選択します。 Firmware Upgrade をクリックし、アップグレードを開始します。 アップグレード完了後に、本機は自動的に再起動します。 ※アップグレード中に電源を切らないで下さい。

● Config Backup & Restore

Config Backup&Restore	
Backup	Config Backup
Restore	<input type="text"/> 参照... Config Restore

表示	説明
Backup	Config Backup をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
Restore	参照から保存されたコンフィグファイルを選択し、設定の復元をします。 Config Restore をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは適用できません。

--	--

- Reboot

Reboot	
	Reboot

表示	説明
Reboot	本機を再起動します。

- Factory Reset

Factory Reset	
Exclusions Item	<div>Network</div> <div>Preset</div> <div>User List</div>
	Factory Reset

表示	説明
Exclusions Item	<p>Network、Preset、User List で初期化しない設定にチェックをします。 設定が保持されるものを以下に記します。</p> <p>Network: Network>IP&Port / QoS / Discovery / SNMP / DDNS / SSL、 User>Login Policy>Authentication</p> <p>Preset: PTZ>Preset / Group / Advanced>Auto Parking</p> <p>User List: User>User List</p>
Factory Reset	ログを含む、すべての設定が初期化されます。

- Certification Upload

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

SSL Certificates Upload	
Crt File	参照...
Key File	参照...
Upload	
Default certificate is being used.	

9.9.3. Time

The screenshot shows the 'Time' configuration window. On the left is a sidebar menu with categories: Video&Audio, Image, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. Under 'System', there are sub-items: Information, Upgrade&Reboot, Time (highlighted in red), OSD, Language, System Mode, and Log. The main window has the following fields:

- Start Time:** 2021/02/02 17:10:43
- Current Time:** 2021/02/03 11:18:32
- Set Time:** 2021/02/03 11 : 18 : 18 (with increment/decrement arrows)
- Time Format:** YYYY/MM/DD hh:mm:ss (dropdown menu)
- Time Zone:** (GMT+09:00) Seoul (dropdown menu)
- ☐ Automatically synchronize with NTP server
- NTP Server:** pool.ntp.org
- Buttons:** 'Set Current Time' and 'Apply'

● Time

This is another view of the 'Time' configuration window, showing the same layout as the previous screenshot. The 'Current Time' is now 2021/02/03 11:18:55. All other fields and the sidebar menu remain the same.

表示	説明
Start Time	本機の起動日時を表示します。
Current Time	本機の現在日時を表示します。 <div>Set Current Time</div> をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
Set Time	手動で日付と時間を設定できます。
Time Format	日時の表示形式を選択します。
Time Zone	本機が取り付けられている場所のタイムゾーンを選択します。
Automatically synchronize with NTP server	チェックを入れた場合、自動的に NTP サーバと同期します。 NTP を使用して、NTP サーバと本機の時刻を同期します。
NTP Server	NTP サーバを登録します

9.9.4. OSD

Video&Audio +	System ID																																			
Image +	System ID <input type="text"/>																																			
Network +	Web Viewer OSD																																			
Event +	System ID <input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On																																			
Record +	Time <input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On																																			
Device +	Position <input checked="" type="radio"/> Bottom <input type="radio"/> Top																																			
PTZ +	Burn-in OSD																																			
User +	System ID <input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On																																			
System -	Time <input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On																																			
Information	Position <input checked="" type="radio"/> Bottom <input type="radio"/> Top																																			
Upgrade&Reboot	Font Size <input type="text" value="40x40"/>																																			
Time	User-defined Burn-in OSD																																			
OSD	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>String</th> <th>X-Coord (0~1000)</th> <th>Y-Coord (0~1000)</th> <th>Font Size (12~84)</th> <th>Color</th> <th>Enable</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="30"/></td> <td><input type="text" value="White"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="30"/></td> <td><input type="text" value="White"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="30"/></td> <td><input type="text" value="White"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="0"/></td> <td><input type="text" value="30"/></td> <td><input type="text" value="White"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>	No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable	1	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>	2	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>	3	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>	4	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>
No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable																														
1	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>																														
2	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>																														
3	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>																														
4	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>																														
Language	User-defined Bitmap OSD																																			
System Mode	Bitmap OSD1 Enable <input type="text" value="Off"/>																																			
Log	Bitmap OSD2 Enable <input type="text" value="Off"/>																																			

- System ID

System ID

System ID

表示	説明
System ID	ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。

- Web Viewer OSD

Web Viewer OSD

System ID ☒ Off ☐ On

Time ☒ Off ☐ On

Position ☒ Bottom ☐ Top

表示	説明
System ID	システム ID を Live 画面に表示をするか選択します。
Time	現在日時を Live 画面に表示をするのか選択します。
Position	System ID/Time が On の場合、表示する位置を上 (Top) または下 (Bottom) から選択できます。

※Edge (Internet Explorer モード) のみ表示

- Burn-in OSD

Burn-in OSD

System ID ☒ Off ☐ On

Time ☒ Off ☐ On

Position ☒ Bottom ☐ Top

Font Size

表示	説明
System ID	エンコードしたビデオにシステム ID を表示するのか選択します。
Time	エンコードしたビデオにサーバ時間を表示するのか選択します。
Position	System ID/Time が On の場合、表示する位置を上 (Top) または下 (Bottom) から選択できます。
Font Size	フォントサイズを設定します。

※Encoder のみ


- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD						
No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	White ▼	<input type="checkbox"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	White ▼	<input type="checkbox"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	White ▼	<input type="checkbox"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	White ▼	<input type="checkbox"/>

表示	説明
String	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Font Size	フォントサイズを設定します。(12~84)
Color	フォントの色を設定します。
Enable	表示する場合は、Enable にチェックを入れます。

※Encoder のみ

- User-defined Bitmap OSD

User-defined Bitmap OSD	
Bitmap OSD1 Enable	<input type="text" value="On"/>
X-Coord(0~1000)	<input type="text" value="10"/>
Y-Coord(0~1000)	<input type="text" value="10"/>
Current Bitmap	
Upload Bitmap	<input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="Upload Bitmap"/>
Bitmap OSD2 Enable	<input type="text" value="Off"/>

表示	説明
Bitmap OSD1/2 Enable	ビットマップを入れる場合は、On にします。 ビットマップは 2 つまで設定可能です。
Bitmap OSD2 Enable	ビットマップを入れる場合は、On にします。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Current Bitmap	現在のビットマップを表示します。
Upload Bitmap	参照をクリックし、ビットマップ形式の画像ファイルを開きます。
<input type="button" value="Upload Bitmap"/>	ビットマップ形式の画像ファイルを PC からアップロードします。

※Encoder のみ

9.9.5. Language

Video&Audio +	<div>Language</div> <div>Language English ▼</div> <div>Apply</div>
Image +	
Network +	
Event +	
Record +	
Device +	
PTZ +	
User +	
System -	
Information	
Upgrade&Reboot	
Time	
OSD	
Language	
System Mode	
Log	

● Language

Language	
Language	English ▼
Apply	

表示	説明
Language	18 カ国語の中から選択します。

9.9.6. System Mode

Video&Audio +

Image +

Network +

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System -

Information

Upgrade&Reboot

Time

OSD

Language

System Mode

Log

System Mode

System Mode Encoder

Apply

● System Mode

System Mode

System Mode Encoder

Apply

表示	説明
System Mode	エンコーダモードまたはデコーダモードを選択できます。 システムモードが変更された場合、再起動します。

9.9.7. Log

- Video&Audio +
- Image +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System -
 - Information
 - Upgrade&Reboot
 - Time
 - OSD
 - Language
 - System Mode
 - Log**

System Log

```

191210 15:52:34 ACCOUNT Add 15(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:52:35 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:25 ACCOUNT Delete 5(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:26 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:28 ACCOUNT Delete 15(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:32 ACCOUNT Delete 14(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:34 ACCOUNT Delete 13(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:37 ACCOUNT Delete 12(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:39 ACCOUNT Delete 11(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:41 ACCOUNT Delete 10(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:42 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:44 ACCOUNT Delete 9(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:45 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:48 ACCOUNT Delete 8(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:50 ACCOUNT Delete 7(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:52 ACCOUNT Delete 6(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:54 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:55 ACCOUNT Delete 4(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:58 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:57 ACCOUNT Delete 3(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:58 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:59 ACCOUNT Delete a(User), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:55:00 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:55:08 ACCOUNT Add a(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:56:00 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:56:05 ACCOUNT Add b(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:56:14 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:42:02 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:42:09 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:43:27 ACCOUNT Changed Priority(b(Manager)->User), ID(Unknown), IP(192.168.80.7)
191210 15:43:28 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:43:35 ACCOUNT Changed Password(a(Manager)), ID(Unknown), IP(192.168.80.7)
191210 15:43:39 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:43:47 ACCOUNT Changed Password(b(User)), ID(Unknown), IP(192.168.80.7)
191210 15:43:48 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:43:59 ACCOUNT Add c(User), ID(Unknown), IP(192.168.80.7)
191210 15:43:59 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:44:44 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:45:07 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:45:16 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191210 15:54:58 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191211 10:01:41 ENV Time Changed "191211 10:04:28" to "191211 10:01:41", ID(admin), IP(192.168.80.7)
          
```

Filter ☒ Backup ☒ Account ☒ Environment ☒ System ☒ PTZ ☒ Etc ☒ Connection

Get System Log Save System Log Delete System Log File

User Log

```

191210 15:41:20 USER Login success ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 15:41:32 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:41:32 USER Login success ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 15:41:32 USER Login success ID(b), IP(192.168.80.7)
191210 15:45:00 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:50:00 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:50:32 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:50:40 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:50:42 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:50:55 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:02 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:10 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:31 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:35 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:44 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:52 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:51:59 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:52:07 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:52:19 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:52:28 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
          
```

Get User Log Save User Log Delete User Log File

Save Log Option

	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

Apply

- System Log

System Log

```

191202 10:41:39 ACCOUNT Add htanaka(Manager), ID(admin), IP(192.168.80.29)
191202 10:42:03 ENV Config Backup Success ID(admin), IP(192.168.80.29)
191202 10:42:50 ENV Time Changed "191202 10:43:54" to "191202 10:42:50", ID(admin), IP(192.168.80.29)
191202 10:44:54 ENV Recording Changed(Max File Size), ID(admin), IP(192.168.80.29), Contents(500MBytes -> 4GBytes)
191202 10:44:54 ENV Recording Changed(Max File Length), ID(admin), IP(192.168.80.29), Contents(1Min -> Unlimited)
191202 10:45:27 ENV Recording Changed(Max File Length), ID(admin), IP(192.168.80.29), Contents(Unlimited -> 1Hour)
191202 10:53:39 ENV Recording Changed(Max File Size), ID(admin), IP(192.168.80.29), Contents(4GBytes -> 500MBytes)
191202 10:59:01 BACKUP Begin Ch(1), 191202_104528_105403.mp4, ID(null), IP(192.168.80.29)
191202 10:59:55 BACKUP Stop Ch(1), 191202_104528_105403.mp4, ID(null), IP(192.168.80.29)
191202 11:11:48 SYSTEM Reboot ID(admin), IP(192.168.80.29)
191202 11:12:12 ETC SWWDI Last Alive Time "191202 11:11:53"
191202 11:12:12 SYSTEM Started (V11.907R01)
191202 11:12:20 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.80.219)
191202 11:51:08 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.29)
191202 11:51:21 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.29)
191202 11:51:22 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.29)
191202 12:03:45 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.29)
191202 13:02:53 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.29)
191202 13:29:57 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.29)
191202 13:35:32 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 13:35:49 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 13:45:13 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 13:47:06 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 13:49:29 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 13:50:14 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 13:53:25 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 13:54:53 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.29)
191202 13:54:58 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.29)
191202 13:56:39 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 13:58:49 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 14:33:14 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 14:54:30 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 15:13:54 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 15:14:00 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 15:19:02 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 15:19:07 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 15:47:59 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 16:34:50 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 16:38:29 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 16:38:35 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 16:38:43 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)
191202 16:38:50 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.80.7)
191202 16:46:43 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.80.7)

```

Filter ☒ Backup ☒ Account ☒ Environment ☒ System ☒ PTZ ☒ Etc ☒ Connection

Get System Log

Save System Log

Delete System Log File

表示	説明
Filter	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
Get System Log	システムログを表示します。
Save System Log	システムログを txt ファイルとして保存できます。
Delete System Log File	システムログを削除します。

- User Log

User Log

```

191210 15:54:48 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:50 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:53 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:55 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:57 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:54:59 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:56:00 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 15:56:08 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 16:42:26 USER Login success ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 16:43:10 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 16:43:14 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 16:44:06 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 16:59:44 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)
191210 17:00:03 USER Login failure ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 17:00:04 USER Login failure ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 17:00:06 USER Login failure ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 17:00:08 USER Login failure ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 17:00:08 USER Login blocked ID(a), IP(192.168.80.7)
191210 17:00:43 USER Login success ID(a), IP(192.168.80.7)
191211 10:01:41 USER Login success ID(admin), IP(192.168.80.7)

```

Get User Log

Save User Log

Delete User Log File

表示	説明
<div>Get User Log</div>	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
<div>Save User Log</div>	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
<div>Delete User Log File</div>	ユーザログインに関するログを削除します。

- Save Log Option

Save Log Option

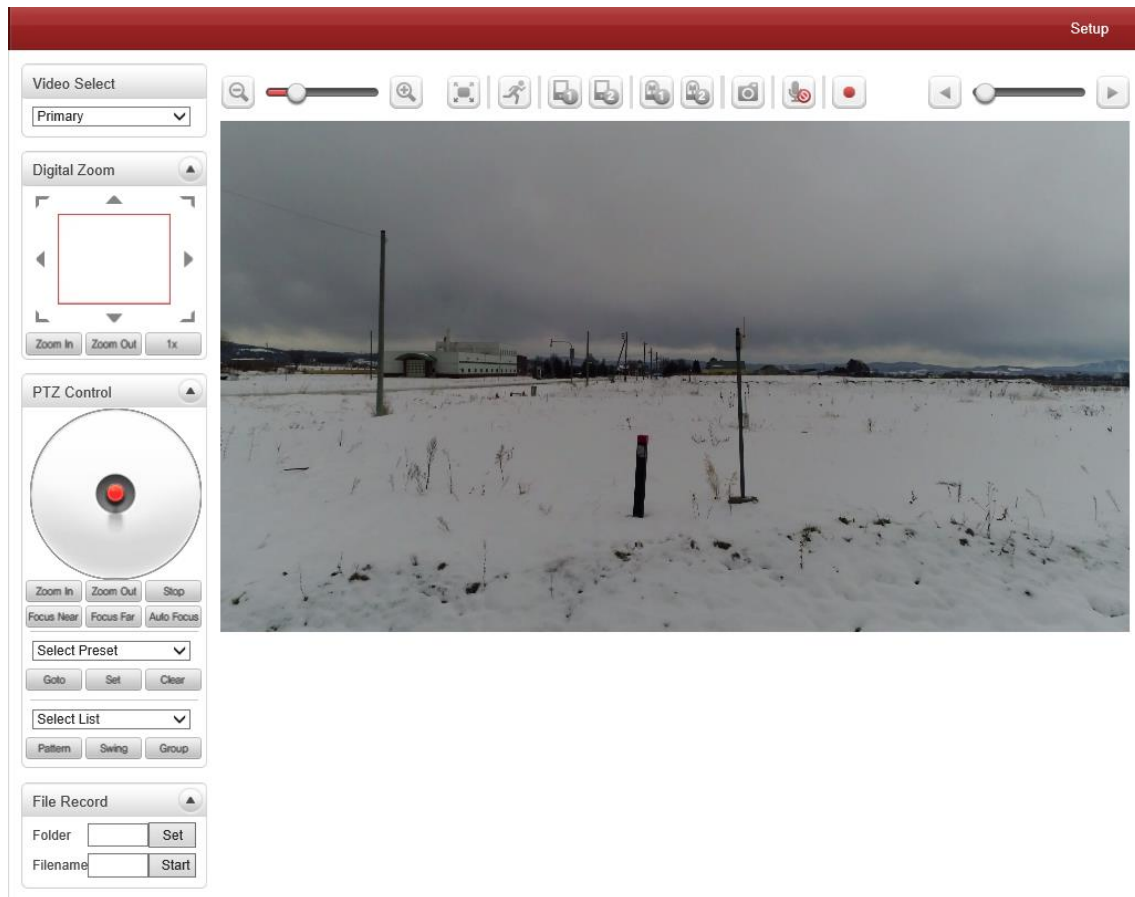
	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

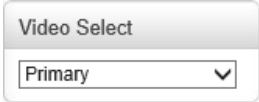
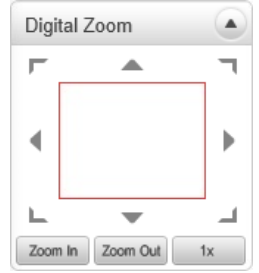
Apply

表示	説明
Include	保存するログにさまざまなオプションを含めることができます。
Exclude	保存するログにさまざまなオプションを外すことができます。

10.Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



表示	説明
	表示する映像ストリームを選択します。(Primary、Secondary #1-#3)
	ズームの制御を行います。(Zoom In, Zoom Out, 1x) Zoom in : 拡大します。 Zoom out : 縮小します。 1x : ワンクリックで通常サイズに戻ります。

	<p>Pan(左右)、Tilt(上下)、Zoom(拡大)の制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>Stop : 現在進行中のアクションを停止します。</p> <p>Focus Near : 近くに物体に焦点を合わせます。</p> <p>Focus Far : 遠くの物体に焦点を合わせます。</p> <p>Auto Focus : 自動的に焦点を合わせます。</p>
	<p>Preset の設定を行います。</p> <p>Goto: 選択したプリセット位置へカメラを移動します。</p> <p>Set: 現在の位置でプリセットを保存します。</p> <p>Clear: プリセットを解除します。</p>
	<p>Patten: 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。</p> <p>Swing: 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。</p> <p>Group: 選択したグループ設定の通りに PTZ します。</p>
	<p>PC のダウンロードフォルダに保存することができます。</p> <p>Filename: ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。</p> <p>ファイル名 [Filename_IPaddress_hh_mm_ss] の MKV ファイルを作成。</p> <p>※Chrome, Edge で使用可能</p>
	<p>Live 画面のスクリーンサイズを調節します。</p>
	<p>クリックするとフルスクリーンになり、Esc で元のサイズに戻ります。</p>
	<p>Motion Detection (動体検知機能) が有効、設定した範囲内で動きを感知すると赤くなります。</p>
	<p>センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。</p> <p>※Chrome, Edge で使用可能</p>
	<p>本機能は未サポートのため、ご使用になれません。</p>
	<p>録画状況を確認できます。</p> <p>赤: 録画しています (ON) / 黒: 録画していません (OFF)</p>
	<p>映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。</p>

※File Record や Snapshot が保存できない場合、Web ブラウザを「管理者として実行」で開く。

11. 製品仕様

製品名		TCS-8500
圧縮方式		H.264、H.265、MJPEG (Secondary のみ)
タイプ		エンコーダ / デコーダ
解像度	入力	640x480～3840x2160
	出力	720x480～3840x2160
最大フレームレート		60fps @3840x2160
ビデオ	入力	HDMI x1 (Type A)
	出力	HDMI x1 (type A)
	データレート	Primary: 32kbps～50Mbps / Secondary: 32kbps～4Mbps
オーディオ	スタンダード	G.711 / AAC
	入力	Line-In x1 (mini-monoaural type)、HDMI (Monoaural)
	出力	Line-Out x1 (mini- monoaural type)、HDMI (Input Bypass)
	サンプルレート	G.711: 8kHz、AAC: 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
	データレート	G.711: 64kbps、AAC: 64kbps / 128kbps
ネットワーク		Ethernet 10/100/1000BASE-T (RJ-45) x1
		・Full/Half duplex Auto detection
		・オート MDI/MDI-X
USB ポート		USB3.0 x1
外部装置	アラームポート	アラーム出力 x2
	センサーポート	センサー入力 x2
	シリアルポート	RS-232 x1
		RS-422/485 x1
寸法		(W) 134 x (H) 33 x (D) 125mm (突起部含まず)
重量		459.4g(本体のみ)
電源	DC ジャック	DC12V
最大消費電力		6.5W
動作温度		-10～+50℃
動作湿度		20～80%RH (結露なきこと)
保存温度		0～+40℃
保存湿度		20～65%RH (結露なきこと)
認定		CE、FCC、VCCI Class A
製品保証期間		本体: 1 年間
		AC アダプタ: 2 年間

12. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のパソコン等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニター等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

13. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

《AC アダプタ》ご購入日より **2年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9:00～17:00